

## 社会福祉法人しらさぎ福祉会 第1期中長期事業計画（進捗状況）

（期間：平成30年4月～令和3年3月31日）

社会福祉法人制度改革により、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務についてなど、社会福祉法人の公益性・非営利性を確保する観点から法人の在り方が見直されたところです。

そのような情勢下、社会を支えていくための福祉人材の確保と地域との共生・協働が喫緊の課題であり、しらさぎ福祉会としては、このような社会情勢を真摯に受け止め、地域課題の把握と地域貢献を果たすべく、以下の中長期計画により、法人組織の健全化及び経営基盤の強化に力強く取り組んでいく考えです。

### 《経営ビジョン》

家族と暮らしているようなアットホームな施設としての誇りを持ち、地域社会に貢献し続けるための組織体制と経営基盤を築く。

#### 1 サービス品質

##### 1) 経営理念・方針の周知

「アットホームな施設」であることが法人・施設の真のカラーとして地域社会に浸透させます。（1年）

（進捗状況）「アットホームな施設づくり」が定着したことを受け、平成31年度から新しい基本理念及び基本方針を掲げ、会議を通じてまずは全職員に周知、浸透させ、地域に対してもHP掲載や会合でのPRを行いました。

##### 2) 外部評価の実施

定期的な第三者評価を受け、情報交換を手段とした取り組みを通じて魅力を発信します。（2年）

（進捗状況）令和2年度の外部評価実施を事業計画及び予算に盛り込みました。

##### 3) 業務手順の標準化

定期的にマニュアルの見直しと非常勤職員を含めた研修を実施します。（1年）

（進捗状況）平成30年度に続き、最低1年1回の定期的なマニュアルの見直しを各部署に指示。部署ごとに職員に周知。非常勤職員の研修参加にも最大限の工夫をし、不参加が強いられても情報が行き渡る手段を確保しています。

##### 4) コンプライアンス

保管義務書類の保管庫を整備し、円滑な利用環境を確保します。（1年）

（進捗状況）平成30年度に新たに3ヵ所の保管場所が確保できたため、その有効活用を進め、保存条件の改善につながっています。

#### 2 人材

##### 1) 人材確保

適切な人員配置および配分が確保できるように抜本的な見直しを行い、多様な人材

活用を実現することにより安定した人材運用につなげます。(1年)

(進捗状況) 特定求職者雇用開発助成金(生涯現役コース)を有効活用して特養1名、デイサービス1名が在職中です。その他独自採用で高年齢者まで幅広い世代が現場を支える体制づくりを進め、既に貴重な戦力となりました。

## 2) 人材育成

主任・副主任を中心にした現場のまとまりを図り、業務改善努力を高めます。(1年)

(進捗状況) 主任会議において、引き続き、経営マインドや人材育成に関するスキルアップの要素を盛り込み、現場をまとめる力を養いました。

## 3) 経営マインドの育成

経営的視点で積極的に経営努力を行う意識を浸透させ、稼働率の向上を軌道に乗せます。(1年)

(進捗状況) チーフスタッフや主任・副主任だけでなく、非常勤を含む全職員に経営マインドを浸透させるための意識改革に取り組みました。また、稼働率を意識した役割意識、目標を共有化し、組織力を高めました。

## 4) 役員機能

法人組織を円滑稼働させることで、適正な財政管理の維持および計画的かつ戦略的な資金運用を実現します。(2年)

(進捗状況) 既存の規程類を見直す他、予算に従った無理と無駄のない堅実かつ計画的な修繕計画と資金運用を職員に意識付けています。

## 5) 権利擁護

スキルアップ研修の充実化を図ることで学習と内省を促す機会を作り、権利擁護の考えを浸透させます。(1年)

(進捗状況) 部署ごとに内部研修を実施する一方で、職員対象のアンケートを実施し、その結果を踏まえた接遇のあり方の学習、意識改革に着手しました。

# 3 財務基盤

## 1) 事業収入の拡大

すべての事業において、稼働率93%を上回る実績を維持します。(2年)

(進捗状況) 平成30年度末に目標稼働率を80%以上に設定し直し、各事業の特性に応じた収益拡大策を展開。平成30年度の事業収入を上回る実績を得て、財源の安定化に一歩近づきました。

## 2) 積立金の計上

無駄な支出や不適切な経費の自粛を徹底し、事業収入を増やすとともに積立金を3年で1億円以上確保します。(3年)

(進捗状況) デイサービスの稼働率が1割ほど改善した他、全事業で事業収入が昨年度に比べ増益に。また、無駄な支出や不適切な経費を見直した結果、平成30年度に伸びなかった事業収入が、目標の5億に及ばずながら4億7000万になり、積立金は前年度比プラス500万円確保しました。ここ数年の経過を踏まえ、実現可能な目標設定として5年で1億を目指します。

### 3) 財務分析

月次決算による財務分析を行い、財務状況と方針を経営に活かします。(半年)  
(進捗状況) 月次決算による財務分析を参考資料に現場への運営状況を周知。運営会議において課題分析を繰り返し行うことが定着化しています。

## 4 制度及び行政の動向

### 1) 介護報酬の改定

加算算定条件を徹底分析し、各事業において増収に転換します。(1年)  
(進捗状況) 加算算定条件を分析し、実現可能な加算を取りこぼし無く算定する方針としました。平成31年度は、特養とデイ双方の個別機能訓練加算が復活し、事業実績に増益をもたらしました。特に、デイサービスでは健康や自立に関心が高い利用者への啓発活動が効果を生まれました。

### 2) 行政からの受託事業

法人及び各事業の地域での存在価値を高め、地域ネットワークを活用して全事業で安定的運営を実現します。(1年)

(進捗状況) 姫路市からの受託事業で法人のメリットを最大限に生み出すため部署間の協力により啓発活動を継続中。生きがいデイサービスは、老人会とのつながりを活かし、健康志向者を中心に利用促進を図っています。また、地域サポート施設の活動を通じて地域ニーズを把握し、顧客獲得のための手段として定着化を進めています。

## 5 地域との関係

### 1) 地域連携

地域との協働姿勢を強化し、信頼関係を堅実維持するとともに問題解決機能の組織化を図ります。(1年)

(進捗状況) 地域連携強化のため、地域との接点をより多く作り、そのつながりを活かすことで、全事業共通の情報網を確立しています。

### 2) 地域特性の把握

自治会や民生委員、老人会、それぞれの特性を活かした情報網を確立し、事業運営に活かします。(1年)

(進捗状況) 地域の各種団体それぞれの特性を活かした連携は保っています。意見やニーズを集める情報網としては、更に連携を深め協力を求めています。

### 3) 労働市場の開拓

独自の人材確保術を実践する中、幅広い世代への関心を拡大的に広めるため、地域での福祉教育・介護のイメージアップ活動を展開します。(1年)

(進捗状況) 中学生を対象にイメージアップ活動として福祉学習を実施し、小学生には施設見学を通じて交流し、介護・福祉への関心の高まりを実感できた。

## 6 マーケット

### 1) 地域ニーズへの対応

更なる地域貢献を目指し、戦略的新規事業の立ち上げを実現します。(1年)

(進捗状況) 地域からの要望に従い行政各担当課との相談を経て地域サポート施設の生活支援サービスとして移動支援を導入。見守りと連動させ生活の不安解消に役立っており、移動ニーズは今後さらに高まる可能性あり。地域包括支援センターや地域関係者との情報交換、協力体制も築かれています。

### 2) 競合状況

町外事業拠点への進出・事業拡大に備えた準備に着手し、計画的に事業を展開します。(長期計画 10年)

(進捗状況) 先々の法人の事業展開に選択肢を広げるため、経営基盤を固めます。

## 7 設備・備品管理

### 1) エアコン室外機

安定的で機能的な空調設備を整えます。(2年)

(進捗状況) 新館棟の空調設備は、平成30年度の冬にも急停止するなど支障を来し、入居者の環境を脅かしていましたが、平成31年度内更新を実現。

### 2) デイサービス送迎バス

機能的・経済的・効率的な送迎体制を構築するための車両を確保します。(2年)

(進捗状況) 平成31年度に送迎バスに頼らない送迎体制の実現が可能と判断したため、老朽化したワンボックス車の購入を含め新編成に検討に着手します。

### 3) 屋根の塗装

屋根の塗りかえを実施し、外観風貌の一新によるイメージアップと風水害対策への設備投資を行います。(3年)

(進捗状況) 度重なる自然災害の脅威に備え、平成30年度に既に実施済です。

平成 31 年度

## 事業報告書

社会福祉法人しらさぎ福祉会

### 《経営ビジョン》

家族と暮らしているようなアットホームな施設としての誇りを持ち、地域社会に貢献し続けるための組織体制と経営基盤を築く。

### 《基本理念》

誠心誠意を尽くし その人らしさを尊重し 貢献心を強く持つ

### 《基本方針》

- ① わたしたちは、懇切丁寧に接し、安全で安心、安楽な生活環境をつくります。
- ② わたしたちは、尊厳を守り、個別性のある心温かい支援を行います。
- ③ わたしたちは、地域社会とのつながりを大切にし、福祉向上のために貢献します。

本年度は、職場環境と処遇の更なる改善に力を入れ、それに伴う規程の整備を順次手掛け、職場内調査と結果を踏まえた職員勉強会の実施、空調設備の更新工事などを実施。また、緊急性が高まる災害対策に対し、地震を想定した地域合同訓練と勉強会を実施し、地域と共に職員の防災意識を高めました。設備面では、防火・防災設備のなかで長年課題として残っていたスプリンクラーの散水障害に対し改善工事を実施、完了しました。

一方、法人が掲げる中長期計画に従い、計画的な経営基盤強化を図るために、組織力と財政面での強化に力を入れ、各事業における利用メリットを高め、啓発することで、顧客数増加に成果が生まれました。

### 1 法人経営の原則の遵守

法人は、定款第3条の規程に則り、社会福祉事業の主たる担い手として相応しい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、経営基盤を強化し、サービスの質向上及び事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めることを宣しています。

その実践として、一つ目に、経営基盤を強化するため、昨年度に機能訓練指導員の要件に見合う有資格者を獲得して1年、特養とデイサービス双方で個別機能訓練によるADLの維持向上を目的とした取り組みが充実化。利用者の自立支援を図る一方、取り組みのPRにも力を入れた結果、増員増収となり、特にデイサービスは昨年度時点6割台に落ち込んでいた稼働率が7割以上にまで改善しました。

職員教育と職員処遇の整備では、昨年度に続き職場内アンケート調査を実施。その結果を踏まえて職場風土の改善を。また、多職種間連携の重要性を共通理解し、組織力強化につなげました。職員処遇では、第3回理事会及び第4回理事会、第2回評議員会での決議を経て、未整備であった永年勤続表彰規程の制定、更に、督励金規程の見直しを実現しました。第5回理事会及び第3回評議員会で決議に至った給与規程の一部改正では、限られた人数でカバーし合う夜間帯勤務者の負担感の強まりに対し、夜勤手当の見直しを令和2年4月からの実現につなげました。

一方、引き続き懸案事項であるアットホーム林田しらさぎの事業化については、事業の立ち上げが難しく、社会福祉事業に限らず法人の財産として柔軟な形で地域社会に役立てることを法人の意思として表明しましたが、その具体的な利活用方法については次年度の課題として持ち越されました。

## 2 理事会・評議員会の開催

### ① 理事会の開催

#### ・第1回 令和元年6月3日

第1号議案 平成30年度事業報告（案）について

第2号議案 平成30年度計画書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について  
（監事監査報告）

第3号議案 役員任期満了に伴う役員候補者の選定について

第4号議案 理事長に関する規程の見直し（案）について

第5号議案 平成30年度定時評議員会への上程議案の確認について

報告事項① 職員の入退職について

報告事項② 理事長の職務執行状況について

報告事項③ その他

#### ・第2回 令和元年6月18日

第1号議案 理事長の任期満了に伴う改選について

報告事項① その他

#### ・第3回 令和元年9月9日

第1号議案 しらさぎ福祉会督励金規程の見直し（案）について

第2号議案 永年勤続表彰規程制定（案）について

第3号議案 非常用自家発電設備整備に伴う今後の手続きについて

報告事項① 各事業所の現況報告について

報告事項② 職員の入退職について

報告事項③ 理事長の職務執行状況について

報告事項④ その他

#### ・第4回 令和元年12月2日

第1号議案 非常用自家発電設備整備補助事業の計画見直しについて

第2号議案 平成31年度しらさぎの里拠点区分第1次補正予算（案）について

第3号議案 しらさぎ福祉会督励金規程の見直し（案）について

第4号議案 平成31年度第2回評議員会への上程議案の確認について

報告事項① 平成31年度上半期決算報告について

- 報告事項② 平成 31 年度上半期監事監査報告について
- 報告事項③ 各事業所の現況報告について
- 報告事項④ 職員の入退職について
- 報告事項⑤ 理事長の職務執行状況について
- 報告事項⑥ その他

・第 5 回 令和元年 3 月 3 日

- 第 1 号議案 理事長の選定（案）について
- 第 2 号議案 給与規程の一部改正（案）について
- 第 3 号議案 平成 31 年度しらさぎの里拠点区分第 2 次補正予算（案）について
- 第 4 号議案 令和 2 年度事業計画（案）及び予算（案）について
- 第 5 号議案 令和 2 年度定期昇給（案）について
- 報告事項① 理事長の選定結果について
- 報告事項② 各事業所の現況報告について
- 報告事項③ 職員の入退職について
- 報告事項④ その他

② 評議員会の開催

・定時評議員会 令和元年 6 月 18 日

- 第 1 号議案 平成 30 年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について  
（監事監査報告）
- 第 2 号議案 新役員の選出について
- 第 3 号議案 理事長に関する規程の見直し（案）について
- 報告事項① 平成 30 年度事業報告について
- 報告事項② 職員の入退職について
- 報告事項③ その他

・第 2 回 令和元年 12 月 9 日

- 第 1 号議案 平成 31 年度しらさぎの里拠点区分第 1 次補正予算（案）について
- 第 2 号議案 しらさぎ福祉会督励金規程の改正（案）について
- 第 3 号議案 永年勤続表彰規程制定（案）について
- 報告事項① 平成 31 年度上半期決算報告について
- 報告事項② 平成 31 年度上半期監事監査報告について
- 報告事項③ 各事業所の現況報告について
- 報告事項④ 職員の入退職について
- 報告事項⑤ その他

・第 3 回 令和 2 年 3 月 18 日

- 第 1 号議案 給与規程の一部改正（案）について

- 第2号議案 職員旅費規程の一部改正（案）について
- 第3号議案 平成31年度しらさぎの里拠点区分第2次補正予算（案）について
- 第4号議案 令和2年度事業計画（案）及び予算（案）について
- 第5号議案 令和2年度定期昇給（案）について
- 報告事項① 理事長の選定結果について
- 報告事項② 各事業所の現況報告について
- 報告事項③ 職員の入退職について
- 報告事項④ その他

### ③ 監事会の開催

- ・令和元年5月13日・5月16日（世良監事・石飛監事）  
平成31年度第1回理事会及び定時評議員会にて  
平成30年度下半期の監事監査結果として報告
- ・令和元年11月18日（世良監事・石飛監事）  
平成31年度第4回理事会及び平成31年度第2回評議員会にて  
平成31年度上半期監事監査結果として報告

### ④ 評議員選任・解任委員会の開催

- ・開催なし

## 3 事業運営

- ① 第一種社会福祉事業 特別養護老人ホームの経営  
地域密着型特別養護老人ホームの経営
- ② 第二種社会福祉事業 老人短期入所事業の経営  
老人デイサービス事業の経営
- ③ 公益事業 居宅介護支援事業の経営  
生きがいデイサービス事業の経営  
地域包括支援センター事業の設置経営  
地域支援総合事業の設置経営（アットホーム林田しらさぎ）

## 4 本年度の重点施策

### 1) サービス品質

- i 新しい理念を掲げてスタートした令和2年度は、各会議の場を通じて、法人が目指すべきビジョンともに法人と職員、そして事業の取り組みがどうあるべきかを説き全職員への浸透に力を入れました。
- ii 社会的な人材不足の中、若者から子育て世代、高年齢者まで、多様かつ幅広い世代によって支えられる持続可能な組織づくりに引き続き取り組みました。その第一歩として、互いに補い支え合う精神とメンバーシップの向上に力を入れました。  
また、昨年度に続き「組織内のコミュニケーションと多職種間連携に関するアンケート



- ート調査」を全職員に実施。課題抽出と改善対策を経て、幅広い世代の様々な職種が互いの力を最大限に活かし合う職場環境と持続可能な組織づくりに取り組みました。
- iii 外部評価による施設の魅力発信については、介護ソフトの新システム導入など大掛かりな手続きが進行中であることを踏まえ、時期を次年度に見送りました。
  - iv 諸規程見直しの一環として、督励金規程の見直し、永年勤続表彰規程の制定を果たし、根拠に基づいた支給制度が確立しました。
  - v 各職員との育成面接を経て個別の年間目標を設定、目標達成に必要な研修への参加機会を確保しました。

## 2) 人事管理の適正化への対応

- i 兵庫県老人福祉事業協会からの補助を得て、介護福祉士実務者研修及び介護職員初任者研修の受講料補助を行い、受講を優先した勤務調整を行い支援しました。  
(平成 31 年度実績 介護福祉士実務者研修 1 名)
- ii 職員の労働意欲と貢献心を高めるため、各会議を利用した職員教育を実施。さらに、職場環境と多職種間連携を改善するための職員アンケートを実施。アンケート結果から課題を抽出、部署ごとに分析し、結果を踏まえた学習会を各会議で実施しました。
- iii 人員が不足しがちな土日の人員確保など、組織の人員確保に協力的な職員に対し、賞与支給時に合わせて業績を評価、報酬に反映しました。非常勤職員に対する明確な評価基準現時点における評価基準が曖昧なため、令和 2 年度に整備を進めます。

## 3) 財務基盤の強化

- i 介護報酬改定に伴うマイナス改定の影響を受け利用実績が低迷する事業の強化を推し進めました。その結果、デイサービスでは 6 割台に落ち込んでいた稼働率を 7 割に改善。今後、令和 2 年度では更に全事業で 8 割以上の稼働を目指します。
- ii 昨年度に続き、介護報酬とその資金運用について職員会議の場で学びを与え、予算を意識した計画的な修繕や物品購入を行う考えを浸透させました。
- iii 特養及びデイサービスの機能訓練指導員が個別の機能訓練と機能評価を実施し、体操教室を開くなど機能訓練実施のメリットを外部にも積極的に PR しました。

## 4) 地域との連携強化

- i 兵庫県が推し進める県知事認定の地域サポート施設の一つとして、姫路市地域包括支援課、姫路市社会福祉協議会、姫路市書写・林田地域包括支援センターとの連携の下で、地域で暮らす高齢者の 24 時間見守りサービスをはじめ、ふれあいサロン、ミニデイサービス、介護技術講習会の開催などを行い、生活支援サービスのうち移動支援に対するニーズへの関心の高さも 1 年の成果から明らかになった。
- ii 林田中学校と連携し、1 年生を対象とした福祉授業を実施(令和 2 年 1 月 23 日)。トライやるウィークを見据えた介護の仕事のイメージアップ活動(兵庫県老協イメージアップ事業として)に加えて、独自に認知症サポーター養成講座を追加開催。将来的な福祉人材確保につなげるための啓発を行いました。

- 5) 設備備品管理
- i 新館のエアコンについて、予てからの問題である室外機の老朽化と度重なる故障に対し、全 20 室それぞれの居室に家庭用エアコン設備を設置することで改善を図りました。
  - ii 介護施設、そして福祉避難所として自然災害や火災に備えるため、防火設備の点検時（令和元年 10 月 16 日）に防火シャッターの開閉速度の改善調整を実施。また、消防法上問題のあったスプリンクラー散水障害の改善工事（令和 2 年 1 月 16 日）を行い、消防署への改善届を完了しました。
  - iii 新館下駐車場の天板破損部分の劣化が進む中、引き続き業者に点検と見積を要請。令和 2 年度に原因究明したうえで修繕に移ることを計画にあげました。
- 6) 災害時に備えた体制の整備
- i 地域合同災害避難訓練に合わせて、職員その他、地元自治会、住民、消防隊員、消防林田東分団の参加による地震災害地域合同勉強会（令和元年 9 月 7 日）を開催。地震災害と災害時の対応手順、心得等を学習し、地震災害に対する職員の意識改革を継続的に行いました。
  - ii 年 2 回の火災避難訓練に加えて、姫路市危機管理室や消防署との相談と計画の下、地元自治会と住民、消防隊員、消防林田東分団の参加を得て、初めての地震災害合同避難訓練（令和元年 9 月 7 日）を実施。訓練終了後の検証と意見交換を通じて課題と対策を共有し、職員の防災意識と対応力を更に高めました。
  - iii 福祉避難所運営マニュアルの整備が進む中、市内施設の災害対策研修を参考により実用的な工夫を加え、主に備蓄食料の見直しと施設間連携の面を強化することを決定。令和 2 年度に職員への周知と実用化につなげます。
- 7) その他 設備及び備品管理について
- i 特定建築物等防火設備定期点検実施（令和元年 10 月 16 日）三和シャッター工業
    - ① 防火シャッター及び防火扉について異常及び指摘なし
  - ii 消防用設備等保守点検実施（平成 31 年 4 月 6 日、令和元年 10 月 16 日）安立防災
    - ① スプリンクラーヘッドの散水障害あ箇所あり・屋内階段部分
    - ② 自動火災報知設備 中央階段の作動式スポットを煙感知器に取替る必要あり
    - ③ 自動火災報知設備 1 階旧浴室（喫煙室）・未警戒（天井裏仕切りはブロック）
    - ④ 誘導灯 2 階西廊下西室内通路 1 台電池不良
 以上の結果を踏まえて、①は改善工事实施（令和 2 年 1 月 16 日）  
 ②③④は改善工事实施（令和元年 10 月 16 日）
  - iii 消防立入検査実施（令和元年 11 月 26 日）姫路西消防署
    - ① スプリンクラーの散水障害を解消すること
    - ② 機能訓練室レースカーテン 防災性能を有する物品を使用すること
 以上の結果を踏まえて、①は改善実施、消防署報告済（令和 2 年 1 月 16 日）  
 ②は改善実施、消防署報告済（令和元年 12 月 5 日）

- iv エレベーター定期点検（令和元年8月20日）フジテック
  - ① 駆動装置等の耐震対策、主索又は鎖及び調速機ロープの取付部、頂部綱車、ガイドレール及びレールブランケット、釣合おもりの各部。以上の検査項目について、建築基準法の改正に伴い耐震関係は設置時期で既存不適合を判断。以上の結果について、次回工事に合わせ、現行法に対応した対策を実施する。
- v 自家用電気工作物点検（自家発電設備）日本テクノ
  - 年次：令和元年6月2日
  - 月次：令和元年5月17日、7月8日、9月9日、11月11日、令和2年1月14日
  - ① 平成31年1月以降発電機起動不可との報告あり。
    - メーカーによる点検により現時点で異常なし。セルに信号を送るセンサーの汚れを取り除いたところ起動したため、定期的な試運転と掃除をすれば、今の所機能的には問題がないことが判明。只、今後故障した場合には発電機ごと更新する必要がある。
- vi 産業廃棄物立入検査（令和元年5月13日）姫路市
  - ① 指摘事項なし。産業廃棄ゴミ収集場所の表示に関する助言あり、即日対応済。

平成 31 年度

## 事業報告書

特別養護老人ホームしらさぎの里

本年度の年間稼働率は、99.1%で前年度と比較し+1.1%の増加となりました。嘱託医や医療機関との連携を図り、入居者の健康状態の把握、早期の対応や受診を行うことで入院者数の減少につながり稼働率の向上がみられました。

### 1 根拠に基づいた介護の実践

#### 1) 根拠に基づいた介護の実践について

主任会議やフロア一会議、施設内研修会において、適正な水分摂取・歩行に対するケア・普通の食事を摂取できた場合に、身体にどのような影響を及ぼすのかを学び、部門間で連携を図りながら理論に基づいたケア・尊厳を守るケアの提供に努めました。また、適正な水分ケアを勧め、可能な限り自然な排便に繋がる様に医師との連携にも努めました。

#### 特養・地域密着型特養共同の施設内研修

月	研修内容	担当職員
4月24、5月6日	介護ターミナルケア	介護職員
5月10.15日	高齢者施設における事故発生の原因と予防	介護副主任
5月15.28日	接遇、マナー	介護職員
6月10.14日	高齢者虐待	介護職員
6月21日	食中毒の基礎知識と予防(姫路市出前講座)	栄養室係長
7月3.9日	吸引・胃瘻介助	看護主任
7月25.29日	身体拘束	介護職員
8月16.27日	高齢者に多い疾病、褥瘡について	介護職員
9月27.30日	緊急時の対応(骨折・止血)	介護職員
10月24.29日	プライバシー保護、個人情報保護	介護職員
11月25.29日	感染症予防・対策	介護副主任
12月24.28日	認知症ケア	介護主任
1月25.29日	介護事故の予防・緊急時対応	介護職員
2月6.11日	介護職に求められている職業倫理	介護副主任
2月25.27日	褥瘡について	看護職員
3月23.26日	高齢者の尊厳を守るケア(身体拘束含む)	介護係長

#### 実習受入状況

受入期間	学校名	実習内容
自 令和 1年6月3日 至 令和 1年6月7日	姫路市立林田中学校 2名 姫路市立琴陵中学校 1名	トライやる・ウィーク

自 令和 1 年 6 月 10 日 至 令和 1 年 6 月 21 日	兵庫県立龍野北高等学校 1 名	介護実習 I - 3
自 令和 1 年 9 月 9 日 至 令和 1 年 9 月 13 日	兵庫県立大学 2 名	給食の運営

## 2 入居者の尊厳を守る基本的介護の実施について

### 1) 高齢者虐待・身体拘束の防止に向けた取り組みの実施

入居者に安心して自分らしく生活を送って頂くために、主任会議をはじめ各フロア会議において、高齢者虐待と身体拘束に関する話し合いや事例検討会を行い、認知症や虐待の理解及び不適切なケアについても話し合い、職員への気づきを促し改善していけるように努めました。

## 3 サービスの質の向上について

### 1) 根拠に基づいた介護（水分摂取、歩行と排泄、常食化）を取り入れたアセスメントと見直しを継続して行い、一日に必要な水分摂取量を目標値に設定し、意識障害・認知力の改善が見られた方が 6 名、福祉用具を用いて歩行が可能になられた方が 2 名、下剤に頼らず自然な排便が見られた方が 2 名となりました。

心身状況の把握に努め、変化があった事に対しご家族へお伝えし、ご家族の意向の確認とケア内容の提案を行い、ご家族とも一体となった施設サービス計画書の作成に努めました。また、ご家族へのサービス担当者会議出席を積極的に依頼し、施設でのケア内容の理解と協力を得られる様に努めました。

サービス担当者会議開催件数（広域型）

項目 \ 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
サービス担当者会議の件数	115 件	144 件	132 件
ご家族参加の総件数	67 件	78 件	46 件

※コロナウイルス感染予防のため、1 月中半より面会制限（中止）のため、前年度より出席率が減少しています。

### 2) 担当介護職員より、毎月の近況報告（写真付き手紙）を ご家族宛に送付し状態の共有を図りました。また、状態変化時にはご家族へ電話連絡を随時行い、施設の体制を再度説明したうえで、対応・ケア方針の検討に努めました。（1 月よりは隔週でご家族へ電話にて近況を報告しています。）

#### ①介護の取り組み

##### i 食事：

椅子やテーブルの高さ、自助具を調整し、食事を摂るための座位を確認し、入居者ご本人に食べて頂けるよう環境整備に努めました。また、水分摂取の方法を検討し、24 時間摂取できる環境を作り脱水から起こる認知レベルの低下を予防し、改善に繋がる方もありました。

ii 排泄：

入居者 一人ひとりに合わせた排泄方法を排泄委員会（尿測、排尿チャート）・フロアー会議で検討し、実施しました。

月日\種別	パット交換者	トイレ誘導者
平成 31 年 4 月	15 名	44 名
令和 2 年 3 月	17 名	42 名

iii 入浴：

入居者の身体状況に応じた入浴方法を、入浴委員会・フロアー会議で検討し、各入居者に合った方法で入浴を実施しました。（30 年 7 月新館にリフトを設置したことにより座位式特殊浴の人数が増加）

月日\種別	臥床特殊浴	座位特殊浴	個浴
平成 31 年 4 月	13 名	38 名	9 名
令和 2 年 3 月	12 名	43 名	5 名

②看護室の取組み

- i 入居者の日々の健康管理に努め、発熱時には温度板を活用し、その統計と初期の体調変化を見極め 嘱託医・協力医療機関と連携し、早期対応に努めました。

医師の往診時には、入居者の状態を的確に報告し 医師の診療補助に努めました。

嘱託医：毎週 20～30 名程度の診察

心療内科医師：対象者 26 名（前年度 23 名）

歯科往診：対象者 60 名

嘱託医回診以外の協力医療機関等への受診状況		
平成 29 年度受診件数	平成 30 年度受診件数	平成 31 年度受診件数
324 件	276 件	160 件

嘱託医への受診件数：26 件

協力医療機関等への入院状況			
項目 \ 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
入院者数	26 名	22 名	12 名

- ii 入居者・職員ともに年 1 回（夜勤者は年 2 回）の健康診断を実施（介護職は腰痛検査も実施）し、嘱託医による健康相談を行いました。

- iii ターミナルケアの実施：ターミナルケア開始決定については、ご家族に医師の説明・施設での看取り介護についての説明を聴いて頂き、細かく意向を確認し、その人らしく最期の時を迎えて頂けるような支援に努めました。また、その内容の記録を作成し、職員間での情報の共有を図りました。

平成 31 年度ターミルケア実施者：12 名（内 5 名が永眠）

項目 \ 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
ターミナルケア実施者数	10 名	11 名	12 名

③栄養室の取組み

i 給食実施状況

- ・食事形態について

平成 29 年度・30 年度・31 年度の 3 年間の比較をグラフにしました。

- ・食事形態 3 年間比較グラフ

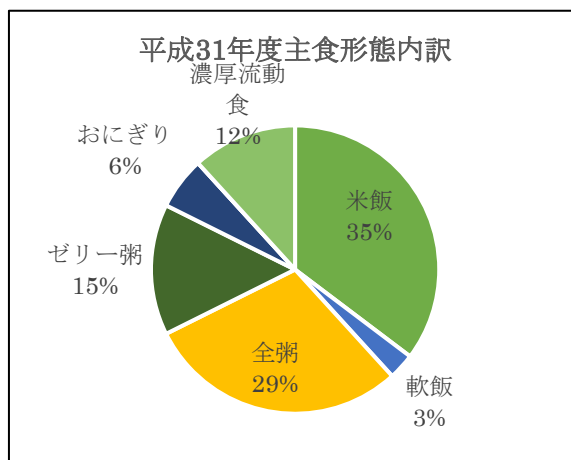
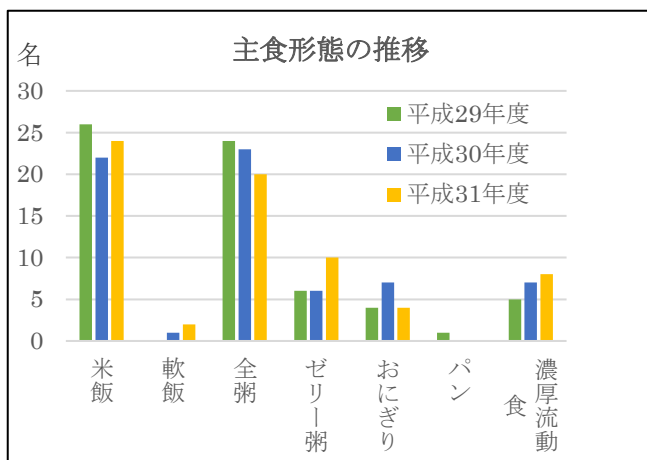
<主 食> 令和 2 年 3 月 31 日現在

	米飯	軟飯	全粥	粥ミキサー	おにぎり	パン	濃厚流動食
平成 29 年度	26	0	24	6	4	1	5
平成 30 年度	22	1	23	6	7	0	7
平成 31 年度	24	2	20	10	4	0	8

(名)

※濃厚流動食内訳：胃ろう 3 名、経口摂取 5 名

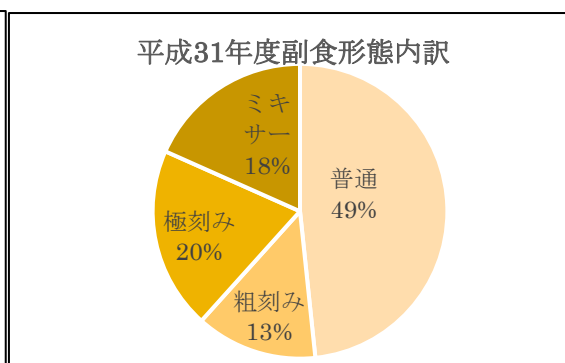
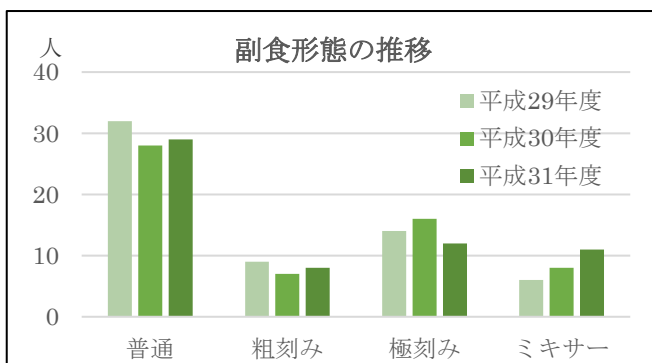
※粥ミキサーは平成 30 年度よりゼリー粥に変更



<副 食> 令和 2 年 3 月 31 日現在

	普通	粗刻み	極刻み	ミキサー
平成 29 年度	32	9	14	6
平成 30 年度	28	7	16	8
平成 31 年度	29	8	12	11

(名)



※令和2年3月31日現在入院者数2名を除く。

ii 特養の栄養摂取状況

	エネルギー	たんぱく質	脂質	炭水化物	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンc	食塩相当量
	kcal	g	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g
施設基準量	1500	60.0	36.0	234.0	630	7.0	800	1.00	1.20	100	8.0
H31年度平均	1570	63.6	39.8	232.8	576	7.9	730	0.85	1.09	97	8.1

iii 栄養ケア計画について

特別養護老人ホームしらさぎの里では栄養ケアマネジメント体制を整えています。特養の入所者一人ひとりの個性や食事に対する希望にできるだけ対応し、体重管理および疾病予防、食事療法そして生活の一部としての栄養に関するケア計画を、嘱託医を含め各部署と連携して実施しています。またサービス担当者会議に栄養士も参加し、栄養ケア計画を施設サービス計画書と連動させ、より細かなケアとサービスを提供できるよう多職種で検討しています。

iv 経管栄養について

経管栄養（胃ろう・鼻腔）にて毎日の栄養を摂取される入居者の割合は全体の約4%です。各個人の状態に応じた濃厚流動食の選択や適正カロリーの摂取、また逆流や嘔吐の予防などに努めています。嘱託医、看護師と密に連携を取り、濃厚流動食の種類を充実させ、個人個人に最も適した濃厚流動食で対応できるようにしています。これにより入居者の体調を良好に保ち栄養状態が改善され、また注入時の負担が軽減できるなど良好な結果を得ています。

v 療養食について

特養入居者、ショートステイ利用者には様々な疾病を抱えておられる方も少なくありません。特に食事療法が重要となる病気をお持ちの方に対して嘱託医を始め看護師や介護職員と連携を取って疾病に対する療養食を提供しており、ショートステイ利用者に関しても療養食加算を算定できる体制を整えています。「生活の場であるしらさぎの里」であることから、ご本人の意思を尊重し満足度も考慮しつつ疾病に対応した療養食を提供できるよう努めています。

<令和2年3月31日現在の療養食の種類と提供人数>

	糖尿食	心臓病食	腎臓病食	貧血食	
特養	7	4	0	0	(名)
ショートステイ	3	0	0	0	



### 特養合同施設行事・余暇活動実施状況

月	施設行事内容
4月	・花見・ドライブ（チューリップ鑑賞）
5月	・ドライブ（ルピナス鑑賞）
6月	・ドライブ（紫陽花鑑賞、こいのぼり鑑賞）・蛍狩り
7月	・ビアガーデン・七夕
8月	・そうめん流し
9月	・敬老会・秋祭り
10月	・運動会・バーベキュー
11月	・焼き芋
12月	・餅つき・クリスマス会
1月	・初詣・書初め
2月	・節分・恵方巻き
3月	・ケーキバイキング

### 5 地域との連携の強化について

しらすぎふれあいサロンを6、8月に開催し、勉強会や施設見学（林田小学校4年生の福祉体験見学を実施）、ボランティアや地域住民と入居者の交流を通して、高齢者施設の理解・安心感へ繋げることに努めました。地域サポート施設として、平成31年度は7名の契約者の見守り事業を行いました。そして5月からは生活援助（外出支援を含む）を事業内容に盛り込み、月平均2～3回の支援を行いました。また介護技術講習会を2回開催し、介護技術の習得、高齢者の理解を深める事に努めました。

#### ふれあいサロン実施状況

開催日	4月	6月	8月	10月	12月	2月
参加者数	中止	35名	中止	30名	中止	中止

#### LSA 契約者状況

平成29年度	平成30年度	平成31年度
6名	5名	7名

#### 介護技術講習会実施状況

6月26日	要介護高齢者の更衣・排泄介助（おむつ交換）	参加：30名
10月23日	高齢者の摂食嚥下に応じた食事介助	参加：35名

## 6 施設運営の安定と経費の適切な管理

### 1) 健康サポート（状態把握・対応）について

入居者の小さな様子の変化を捉え、嘱託医・各部署間での連携を密にとり状況に応じた対応（受診・食事形態変更・観察）と入院されている方の常態把握を細かく行い、入院期間を把握することにより特養空床の有効活用に努めました。（空床率 0.8%）

また、入居者の状態変化に応じて、介護度区分の適正な見直しと申請を行いました。

### 2) 経費削減について

主任会議にて光熱水費の推移を共有し、常に改善点を抽出し経費削減に努めました。

## 7 危機管理について

### 1) 介護事故及び感染症防止に関わる安全性の確立について

① 主任会議において事故検討委員会を行い、各フロア一会議においては危険予測・ヒヤリハットを活用し小さな打撲・すり傷に至るまでの対策を検討し継続実施しましたが、軽微な傷や皮下出血の事故が多くなりました。また、入居者自身が、皮膚を掻かれることで傷や内出血に至る事や、家族による外出・外泊をされる前・後のボディチェックを行い身体状況を確認した結果、変化があればご家族に随時伝えました。

介護事故件数対比表

平成 29 年度	皮下出血 73 件	表皮剥離 48 件	転倒 23 件
平成 30 年度	皮下出血 95 件	創傷 62 件	転倒転落 31 件
平成 31 年度	皮下出血 53 件	創傷 47 件	転倒転落 27 件

平成 30 年度 総事故件数 242 件      平成 31 年度 総事故件数 145 件

ヒヤリハット件数対比表

平成 30 年度	転倒転落 647 件	トラブル 106 件	喉つめ 97 件
平成 31 年度	転倒転落 362 件	喉つめ 53 件	皮下出血 47 件

平成 30 年度 総件数 1218 件      平成 31 年度 総件数 737 件

②職員 1 名がインフルエンザ A 型に感染しましたが、毎月の感染症対策委員会にて時季に応じた感染症の同行を確認し、事前の予防・対策を図り、入居者には発症した方はおられませんでした。

年度 \ 診断名	インフルエンザ A 型	インフルエンザ B 型	疥癬
平成 29 年度	7 名	6 名	1 名
平成 30 年度	6 名	0 名	0 名
平成 31 年度	1 名	0 名	0 名

※1 月中旬からコロナウィルス対応のため、面会・外出泊の中止、必要物品の適正な使用、不要不急の外出自粛を職員に徹底して行いました。

1) 苦情に関して

入居者・家族への細かなコミュニケーションや連絡・近況報告（写真付き手紙）を適切に行い施設での状況をお伝えし、ご家族の意向も踏まえた対応・ケアの実施に繋がりましたが、認知症を有する方への食事環境への配慮について1件の問題提起を頂きました。また、2ヶ月に1度、苦情解決委員会を開催し、第三者苦情委員に参加頂き、地域の介護相談についても即対応しました。

苦情件数対比表

平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
1 件	0 件	1 件

2) 危機管理について

下記 日程において、消防避難訓練を実施し、非常食の食数の見直しも行き 5 日分を常備しています。

特養・地域密着型特養共同の防災避難訓練実施状況

実施日	訓練内容	対象者
令和 1 年 5 月 13 日	消火、通報および避難等を連帯して行う消防機関への通報訓練（ホットライン）ホーム内への通報連絡訓練等（夜間想定）	特養職員、地域住民
令和 1 年 9 月 7 日	情報伝達訓練、避難誘導訓練 防災講習会、通報および避難等を連帯して行う。（地震災害）	全職員、地域住民 姫路西消防署
令和 1 年 10 月 16 日	消火、通報および避難等を連帯して行う消防機関への通報訓練（ホットライン）ホーム内への通報連絡訓練等（日中想定）	特養職員、地域住民

平成 31 年度

## 事業報告書

しらさぎの里ショートステイ事業所

本年度年間稼働率は、99.0%で前年度に比べ-5.0%となっていますが、特養の空床は0.8%と前年度比1.0%改善しています。長期利用者の体調不良や入院によりキャンセルされる事が多く稼働率の低下につながったと考えます。

### 1 ケアプランに沿ったサービス提供について

新規利用時はもとより、退院時や状態変化時にもケアマネジャーからの情報提供を元に事前訪問を実施することにより、状況に応じたケアの提供とケアプランの作成に努め、利用時毎に自宅での様子を伺い、各引継ぎ時に状態変化を職員に伝達し状態の変化に即応できるように努めました。また、“すこやかメモ”に利用中の様子を記載し、退所時にご家族にお伝えし状態の共有に努めました。

### 2 在宅生活継続に向けてのケアの構築

在宅生活を念頭に、移動時など自宅での生活状況と同じ内容を想定し、状況に応じて車椅子と歩行器の併用を行いました。また、食器洗い・洗濯物たたみ・台拭き・掃き掃除など日常的な役割を持つことによる心身機能の維持・向上と介護負担の軽減・在宅生活の継続に繋がるように努めました。

### 3 利用者、家族との信頼関係の確立について

- 1) サービスの利用初めや契約から時間が経過している方に関しても、ご利用に関して必要な事項があれば、再度丁寧に説明したうえで納得してご利用頂けるよう努めました。
- 2) ショートステイの物品チェックの流れを作成し、ショートステイの入所・退所時には物品チェックを行い忘れ物が無いように努め、忘れ物自体も減少しています。

苦情件数対比表

平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
0 件	0 件	0 件

- 3) 利用中の細かな状態の変化であっても ご家族に連絡し意向を確認しながら対応を行いました。体調不良時には、ご家族に早目の連絡と状況の説明を行い 受診を依頼しております。

#### 4) 生きがいづくり、楽しみづくりについて

- ① 個室を利用していただき過ごしやすい環境を提供するとともに状況に応じて居室内で行って頂けるようにしております。
- ② ショートステイの利用が多めになっている方や利用初めで少し不安感を持たれている方には、デイサービスで知り合いの方と面会やご家族からお手紙を書いていた

だき、不安感の軽減や関係性を保てるように支援を行いました。

- ③ また、施設内での生活援助、レクリエーションだけでなく「ショートステイに行って楽しかった。」と思われる様に、利用者の趣味・特技を活かし、特養クラブ活動（生け花・療育音楽等）や年間行事に、ご利用時に合わせて希望を伺い実施に結びました。

#### 5) 食事について

利用者個々の嗜好に基づき食事を提供し、食欲の減退に繋がらないように対応しました。また、療養食が必要な方に対し、サービス担当者会議により療養食の要否を検討し、嘱託医・各部門との連携に基づき提供を行いました。また、食事形態の変更が必要であれば利用者・ご家族の意向を確認のうえ、状態に応じた食事形態に変更を実施しました。

### 4 短期入所事業の安定と居宅介護支援事業所との連携強化

- 1) 体調が不安定な方や医療的ニーズが増加する中、安心・納得して利用頂く為に、居宅介護支援事業所との連携を密に行い、ご家族にもショートステイでの対応限度に関して利用前に丁寧に説明し、納得頂きご利用に結びました。また、ショートステイの空き状況を合わせてお知らせすることにより、ご利用に繋がっています。急なサービス利用にも対応できるように、特養入居者の入院時の空床を詳細に把握し、緊急なニーズにも可能な限り対応できるように努めました。
- 2) ご利用中の些細な変化であっても担当のケアマネジャーに電話にて連絡し、月に1度ご利用時の情報提供を行い綿密な連携に努め、担当ケアマネジャーとの信頼関係の構築に努めました。

平成 31 年度

## 事業報告書

地域密着型特別養護老人ホームしらさぎの里

本年度の年間稼働率は、99.8%と前年度に比べ0.7%の増加となりました。入居者個々に応じた水分ケアや健康管理を実施する事と、医療機関との連携を的確に行った事による体調の安定が図れ、稼働率の向上に繋がったと思われまます。

### 1 入居者の意思・人格の尊重とサービスの質の向上

地域密着型単体の委員会（食事・排泄・入浴）・フロアー会議・サービス担当者会議において、入居者の意思を尊重し、入居者の有する能力に応じたケアの検討と自立支援に努め、自宅で行ってきた生活の継続と役割を持った生活を送れるように努めました。

#### 1) サービスの質の向上について

##### ① 食事に関して

食事委員会において、入居者の時々状態に応じた食事時の姿勢・食事形態を話し合い、咀嚼・嚥下状態とどの部分に介助を要するのかを検討し、普通の物を食べられる喜びを実感して頂くためにも、行事食や月一回のバイキングの実施と常食化（ミキサー食→極刻み食→刻み食→一口大→常食）に努めました。

##### ② 排泄に関して

排泄委員会において入居者個々の身体状況・認知症の状況に応じた介助の方法を検討しケアの提供を行いました。

月日\種別	パット交換者	トイレ誘導者
平成 31 年 4 月	7 名	3 名
令和 2 年 3 月	8 名	2 名

##### ③ 入浴に関して

入居者個々の希望・身体状況に応じて、入浴委員会で話し合い、入居者に合った入浴方法を検討し、入浴して頂いております。

月日\種別	個浴	リフト浴
平成 31 年 4 月	1 名	9 名
令和 2 年 3 月	1 名	9 名

④ 特養（広域）と共同し利用者及び家族の思いに添った終末期の看取り介護の実施に努めました。平成 31 年度ターミルケア実施者：2 名（永眠：2 名）

⑤ 特養共同の施設行事・フロアー行事に参加頂き、生きがい、目標作りに繋がるような支援に努めました。

### フロアー行事実施記録

日 程	行事内容	日 程	行事内容
4月23日	桜のババロア作り	9月27日	ドライブ（コメダ珈琲店）
5月10日	お誕生会	10月4日	外食（すし官太）
5月31日	苺のホットサンド作り	10月6日	入居者1名一時帰宅援助
6月24日	外食（函館市場）	10月24日	お誕生会
7月18日	喫茶ドライブ（大黒屋）	10月29日	密豆作り
8月19日	外食（すし官太）	11月22日	鍋パーティー
8月26日	外食（山菜料理すくね屋）	11月29日	お好み焼きパーティー
8月29日	かき氷喫茶	12月12日	お誕生会
9月23日	巻きずし	12月27日	バナナホットケーキ作り

2) 高齢者虐待の防止の観点からフロアー会議において、高齢者虐待に関する事例検討・良い対応・不適切な対応・声掛けの方法と、入居者への日頃の認知症状への対応方法について話し合い、その中で最善のケア方法の統一を行うことにより、認知症ケアに対する理念の共有化と身体拘束・高齢者虐待に関する意識付けを行いました。

また、フロアー会議において認知症に関する研修会を実施しました。

3) 入居者個々に合った食事提供・栄養ケアの実施

入居者個々に美味しく適切な食事提供を行うため、部門間で連携を図り、身体状況や喫食状況などを常に把握し、低栄養状態の予防・改善、認知症進行の防止に努めました。

① 炊飯や食事の盛り付けはユニットで行いより家庭の雰囲気作りを中心に掛けました。

また、入居者の食事摂取状況を把握し 個別対応の食事提供に努め、その日の状況に応じて食事形態を微調整し、安全に食事を食べて頂けるように努めました。

② 低栄養や褥瘡リスクの高いまたは褥瘡が発生している入居者に対し、看護師・栄養士と連携し、速やかな栄養改善計画を立て適切な栄養管理を行いました。

③ 季節の食材を取り入れた月1回の昼食お楽しみバイキング、ユニット内での入居者との家庭的で楽しみのある食事作りやおやつ作りに努めました。

4) 運営推進会議を行い、地域の自治会、老人会、民生委員、地域包括支援センターに出席いただき、意見を伺いより良い施設の構築に努めました。

## 2 ユニット型の特性を活かしたケアの構築

1) 入居者の要望に耳を傾け 入居者が自分らしく生活を送れ、在宅生活時から現在の状況まで把握できるように、入居者の24時間シート（アセスメント）を活用し、月1回のフロアー会議により内容の検証と共有を行いました。

また、日常的な他部門との連携をしっかりと図ることにより情報を共有し 他の専門職の意図を理解し共通理解のもと援助を行えるように努めました。

### 3 施設運営の安定と経費の適切な管理

#### 1) 健康サポート（状態把握・対応）について

根拠に基づいた介護（水・歩行と排泄）を取り入れ入居者の小さな様子の変化を捉え、嘱託医・各部署間での連携を密にとりました。（入院者：1名）

医療機関と連携を図り、入院されている方の常態把握を細かく行い、入院期間を把握することにより空床の有効活用に努めました。（31年度 入院者延人数6名）

### 4 家族・地域との関係の強化について

1) 入居者・家族・職員が三位一体となった関係を構築し、明るく家庭的な環境をつくり、家庭との結び付きを重視した生活を提供するために、入居者の身体状況・体調変化時にはご家族への状況連絡を行い、月1回ご家族への近況報告を行いました。また、ご家族の無理のない程度に昼食や外出などにも呼びかけ家族と過ごす時間を持って頂きました。また、サービス担当者会議への参加も積極的に勧めました。

サービス担当者会議開催件数（ユニット型）

項目 \ 年度	平成 31 年度
サービス担当者会議の件数	22 件
ご家族参加の総件数	14 件

※コロナウイルス感染予防のため、1月中旬より面会制限（中止）のため、前年度より出席率が減少しています。

2) 四季や生きがいを感じて頂くために、特養・地域密着型特養の合同施設行事にも参加していただきました。

### 5 危機管理について

#### 1) 介護事故及び感染症防止に関わる安全性の確立について

①フローア会議において、危険予測（ヒヤリハットの活用）と小さな打撲・すり傷に至るまでの対策を検討し継続して実施した結果、介護事故の減少に繋がりました。また、入居者自身が、皮膚を掻かれて傷や内出血を確認し、家族による外出・外泊をされる前・後のボディーチェックを行い 身体状況を確認した結果、変化があればご家族に随時伝えました。

介護事故件数対比表

平成 29 年度	皮下出血 42 件	打撲 13 件	表皮剥離 9 件
平成 30 年度	皮下出血 54 件	打撲 16 件	創傷 13 件
平成 31 年度	皮下出血 21 件	打撲 12 件	創傷 6 件

平成 30 年度 総事故件数 89 件      平成 31 年度 総事故件数 43 件



ヒヤリハット件数対比表

平成 30 年度	転倒	26 件	皮下出血	15 件	転落	12 件
平成 31 年度	転落	68 件	転倒	65 件	皮下出血	51 件

平成 30 年度 総件数 116 件      平成 31 年度 総件数 369 件

②毎月、感染症対策委員会を開き時季に応じた感染症の同行を確認し、事前の予防・対策を図った結果、感染者はおられませんでした。

2) 苦情に関して

入居者・家族への細かなコミュニケーションや連絡・近況報告（写真付き手紙）を適切に行い施設での状況をタイムリーにお伝えし、ご家族の意向も踏まえた対応・ケアの実施に繋げることにより、平成 31 年度の苦情は 0 件でした。

また、2 ヶ月に 1 度、苦情解決委員会を開催し、第三者苦情委員に参加頂き、地域の介護相談についても即 対応しました。

苦情件数対比表

平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
0 件	0 件	0 件

3) 防災対策について

非常食の食数の見直しも行い 5 日分を常備しています。また、特養共同の防災計画に基づき、消防訓練・救急法実践訓練を実施しております。

## 給食部門

### 1) バイキングについて

今年度も月1回、昼食バイキングを実施しました。献立は季節のものを多く取り入れることを心がけて作成し、今年度は実演調理も実施しました。調理員がシェフ帽と白衣を着用して入居者の目の前で調理を行い、焼き立て揚げ立ての料理を振る舞いました。入居者の皆さんには五感で料理を楽しんで頂きました。

<バイキング風景>



～バイキング実施状況～

実施日	献立内容
4月19日(金)	桜海老と蛤の炊き込みご飯 ベーコンとアスパラのクロワッサン風 季節のお造り 手作り焼き鳥 筍のはさみ揚げ 鯛のアクアパッツア 茶碗蒸し ジャがいもポタージュ クリームビュリュレ苺添え
5月20日(月)	にぎり寿司 明石焼き(実演) 空豆のポテトコロッケ 牛しゃぶサラダ なすとひき肉のカレーグラタン 卵豆腐 豚バラと冬瓜の中華煮 山菜とろろそば うぐいす餅苺添え
6月19日(水)	鰻の太巻き/サラダ巻き 中華バーガー 季節のお造り 海老の天麩羅(実演) ピーマン肉詰め 焼き茄子とろろがけ 茶碗蒸し 夏野菜豚汁 メロンババロワ香港風
7月19日(金)	ちらし寿司 海老パン 鱧の梅肉フライ 棒棒鶏サラダ ゴーヤーのハンバーグ 冬瓜の冷やし小鉢 茶碗蒸し スープミネストローネ コーヒーゼリー2種盛り
8月29日(木)	鮎飯 ウィンナーロール 季節のお造り 海老マヨネーズソースがけ 牛ミートボールトマト煮 生春巻き 茶碗蒸し 鱧の吸い物 季節のフルーツ盛り合わせ
9月17日(火)	松茸ごはん お好み焼き(実演) 季節のお造り ロール白菜 海老とオクラの海苔巻き揚げ ふろふき大根 茶碗蒸し 秋野菜豚汁 チョコパイ無花果添え
10月9日(水)	秋の味覚栗入り炊き込みごはん サンドイッチ2種 季節のお造り カニ甲羅グラタン 豚のオクラ入りロールフライ 茄子の中華南蛮 茶碗蒸し 一口にゅうめん 黒ゴマプリン

11月11日(月)	牡蠣ごはん ロールパンエビカツサンド 季節のお造り さんまの梅しそ巻き揚げ 肉団子甘酢あん かぶらの柚子味噌がけ 茶碗蒸し 一口山菜とろろそば アップルパイ
12月12日(木)	にぎり寿司 パングラタン サーモンカルパッチョ 牡蠣入り春巻き 牛ミートボールトマト煮 海老とブロッコリーのサラダ 茶碗蒸し 一口山菜とろろそば アップルパイ
1月17日(金)	ちらし寿司 揚げたこ焼き ローストビーフ カニ甲羅グラタン 手作りミックスフライ ぶり大根 茶碗蒸し すまし汁 カスタードプディング
2月18日(火)	たらことホタテの炊き込みごはん 肉まん 季節のお造り きのこスープ 海老とオクラの海苔巻き揚げ かぶのそばろ煮 茶碗蒸し ベトナム麺フォー 三色ひな祭りゼリー
3月4日(水)	鯛めし あさりと菜の花の塩焼きそば 季節のお造り ビーフカツ 牡蠣とほうれん草のグラタン 筍の白和え 茶碗蒸し 春野菜豚汁 ジュレDEフルーツポンチ

## 2) 行事報告(行事食及び給食関係)

### <特養>

日程	行事内容
4月1日(月)	特養お花見(弁当の発注、作成、提供)
4月24日(水)	ユニットババロワ作り(食材準備・調理指導) 新館カステラ作り(食材準備・調理指導)
5月10日(金)	ユニット誕生日会(手作りおやつ、食材準備・調理指導)
5月14日(日)	本館誕生日会(手作りおやつ、食材準備・調理指導)
5月31日(金)	ユニットホットケーキ作り(食材準備・調理指導) 新館蒸しパン作り(食材準備・調理指導)
6月7日(金)	特養行事・鯉のぼり(食材準備・調理指導)
6月14日(金)	本館誕生日会(手作りおやつ、食材準備・調理指導)
7月3日(水)	新館おやつ作り(食材準備・調理指導)
7月8日(月)	ユニット七夕おやつ作り(食材準備・調理指導)
7月24日(水)	本館誕生日会(食材準備・調理指導)
7月26日(金)	特養行事ビアガーデン(食材準備)
8月6日(月)	特養行事そうめん流し(食材準備・調理指導)
8月21日(水)	新館かき氷作り(食材準備・調理指導)
9月2日(月)	新館誕生日会ケーキ作り(食材準備・調理指導)
9月16日(月)	新館寒天ゼリー作り(食材準備・調理指導)
9月23日(月)	ユニット巻き寿司作り(食材準備・調理指導)
9月27日(水)	本館誕生日会(食材準備・調理指導)
10月18日(金)	特養行事BBQ(食材準備・調理・提供)

10月24日(金)	ユニット誕生日会手まり寿司・ケーキ作り (食材準備・調理指導)
10月28日(月)	本館どら焼き作り (食材準備・調理指導)
10月29日(火)	ユニットおやつみつ豆作り (食材準備・調理指導)
11月12日(火)	本館誕生日会 (食材準備・調理指導)
11月14日(木)	新館誕生日会ケーキ作り (食材準備・調理指導)
11月15日(金)	特養行事焼き芋・おやつ作り (食材準備・調理指導)
11月21日(木)	新館鍋パーティー (食材準備・調理指導)
11月22日(金)	ユニット鍋パーティー (食材準備・調理指導)
11月29日(金)	ユニットお好み焼き (食材準備・調理指導)
12月12日(木)	ユニット誕生日会プリンケーキ作り (食材準備・調理指導)
12月18日(水)	新館たこ焼きパーティー (食材準備・調理指導)
12月27日(金)	ユニットバナナホットケーキ作り (食材準備・調理指導)
1月28日(火)	本館誕生日会 (食材準備・調理指導)
2月2日(日)	新館誕生日会アイス作り (食材準備・調理指導)
2月10日(月)	特養行事：節分行事・誕生日会 (食材準備・調理指導)
3月24日(火)	本館誕生日会 (食材準備・調理指導)

<デイ>

4月2日(火) 3日(水)	お花見 (弁当の発注、提供)
6月17日(月)	利用者とする「関東風桜餅」 (栄養士によるおやつレク・食材準備・調理指導・提供)
7月13日(土) 17日(水)	デイ行事 そうめん流し (食材準備・調理指導・提供)
11月14日(木)	デイ昼食焼き肉パーティー (食材準備・調理指導)
11月20日(水)	利用者とする「パンプキンパイ」(おやつレク・食材準備・調理指導)
1月20日(月)	デイ新年会 寄せ鍋 (食材準備・調理指導)

その他： 毎月のおやつレク (食材準備)  
リハビリクッキング (食材準備)  
手作りおやつ提供 (随時) など

### 3) 嗜好調査について

個別の嗜好調査として、月1回栄養士・厨房職員による聞き取り調査を行いました。

特養入居者・ショートステイ利用者・デイサービス利用者を対象とした嗜好調査を行い、結果に基づいた献立作成を心がけました。入居者・利用者の生活歴や意見に触れることができ、職員意識の向上に反映させることができました。

また、今年度も全特養入居者とデイサービス利用者を対象にした一斉嗜好調査を年1回実施しました。一斉に実施することで喫食者の意見をデータ化することができ、より良い給食運営につなげることができました。

### 4) 栄養士または管理栄養士養成課程の実習生受け入れ

特別養護老人ホームしらさぎの里では、栄養士または管理栄養士養成課程の実習生を

受け入れました。平成 31 年度は 2 名を受け入れ、「給食の運営」において給食業務を行うために必要な食事計画や調理を含む給食サービス提供に関する技術を指導しました。

#### 5) ソフト食の導入

咀嚼・嚥下困難の入居者が安心・安全に食事をして頂くため、食事の一部にソフト食を導入しました。栄養室職員で何度も試作と試食を重ね、会議の場で介護職員と議論を繰り返すことでようやく入居者の方へ提供するに至りました。来年度は使用する食材の種類を増やし、より安全に美味しく食事して頂くことを目標としています。

#### 6) 男の料理教室への参加・指導

今後、少子高齢化社会が進むにつれて、独居になる、あるいは介護する立場になる可能性のある男性が増えています。家庭においても料理に関心を持ち、簡単なものなら作ることが出来るという自信を得て頂くことを目的とし、男の料理教室を実施しました。

#### ～実施状況～

実施日／担当	献立	参加者 人数	
4月20日(土) 村田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラパラ炒飯</li> <li>・海老と筍のシュウマイ</li> <li>・キャベツの中華スープ</li> <li>・杏仁風ミルクプリン</li> </ul>	8名	
5月18日(土) 福岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豚生姜焼き丼</li> <li>・春キャベツとささ身のマスタードサラダ</li> <li>・ワカメと白ネギのスープ</li> <li>・ミルクわらびもちパフェ</li> </ul>	8名	
6月15日(土) 村田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごはん</li> <li>・やわらかチキンナゲット</li> <li>・サバ缶入り卵の花</li> <li>・たっぷり茄子のみそ汁</li> <li>・ミルクわらび餅</li> </ul>	7名	
7月20日(土) 福岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鮎飯</li> <li>・ピーマンのチーズ入り肉詰め</li> <li>・焼き茄子とろろがけ</li> <li>・大根おろし汁</li> <li>・コーヒーゼリーアイスのせ</li> </ul>	7名	
8月17日(土) 福岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごはん</li> <li>・酢豚</li> <li>・ごま豆腐</li> <li>・トマトと卵と桜えびの中華スープ</li> <li>・はちみつゼリー</li> </ul>	7名	

9月20日(金) 福岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もちもち芋ごはん</li> <li>・魚のホイルバター焼き</li> <li>・豆苗とエノキのごま和え</li> <li>・けんちん汁</li> <li>・黒ゴマミルクもち</li> </ul>	7名	
10月17日(木) 福岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼きサバの混ぜ寿司</li> <li>・豚の南蛮漬け</li> <li>・長芋の煮物</li> <li>・あさりと春菊のすまし汁</li> <li>・焼きイチジクのアイス添え</li> </ul>	7名	
11月15日(金) 福岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごはん</li> <li>・牛肉柳川風</li> <li>・れんこんサラダ</li> <li>・かす汁</li> <li>・アップルパイ</li> </ul>	7名	
1月18日(土) 福岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタミナぶり照り丼</li> <li>・ネギの豚巻き</li> <li>・中華コーンスープ</li> <li>・みかん大福</li> </ul>	6名	
2月14日(金) 福岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たらことホタテの炊き込みご飯</li> <li>・みそ煮込みうどん</li> <li>・わけぎとささ身の和え物</li> <li>・チョコムース</li> </ul>	6名	
3月	コロナウイルスのため中止		

#### 8) しらさぎ健康料理教室開催によるしらさぎの里の役割

平成21年度から毎月地域の団塊世代を対象としたゆたりん料理教室を継続開催し、平成24年度から名称をしらさぎ料理教室と変更しました。平成28年度からは「しらさぎ健康料理教室」とし、2か月に1回毎回テーマを決めて食に関する健康講座を開催し、それに関連した調理実習を実施しました。地域貢献事業として管理栄養士が講師となり地域住民への食と健康に関する知識の普及啓発を行いました。

～実施状況～

実施日	講座内容／献立	参加者 人数	
5月23日(木)	「食中毒を防ぐ！キッチンの衛生」 ・ショウガごはん ・梅ささみフライ ・根菜の金平 ・大根おろし汁 ・紅茶プリン	8名	
7月25日(木)	「熱中症予防のための栄養」 ・タコライス ・ささみと夏野菜のマリネサラダ ・枝豆の冷たいポタージュ ・キウイムース	9名	
9月26日(木)	「疲れにくい体をつくる食事」 ・ごはん ・豚の南蛮漬け ・豆苗とエノキのごま和え ・なめこ入りニラたまみそ汁 ・グレープフルーツの さっぱりデザート	10名	
11月28日(木)	「大人のダイエットについて 知ろう！」 ・きのこごはん ・厚揚げと牛肉のオイスター炒め ・豆とシャキシャキ野菜の もずく酢サラダ ・白滝で鶏肉のフォー風 ・おからもちのいちご大福	6名	
1月23日(木)	「旬の白ネギを美味しく食べよう」 ・じゃこごはん ・ネギの豚巻き～すきやき風～ ・炙りマグロのぬた ・ミニトマトの和風スープ ・りんごとゆずジャムの コンポート	7名	
3月	コロナウイルスのため中止		

平成 31 年度

事業報告書

デイサービスセンターしらさぎ

《デイサービス利用状況》

(月別平均利用者数)

	月別平均利用者数		月別平均利用者数
4月	23.7名	10月	26.8名
5月	22.1名	11月	27.1名
6月	24.5名	12月	26.7名
7月	26.3名	R2.1月	25.2名
8月	26.9名	2月	24.1名
9月	27.0名	3月	23.8名

年平均 25.3名

《介護度別平均利用者数》

(総合事業)

	要支援 1	要支援 2
31年度	6名	18名

(通所)

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
31年度	21名	12名	5名	6名	0名

平均介護度 1.2

(利用者年齢構成)

	男性	女性	合計
～69歳	0	0	0
70～74歳	2	2	4
75～79歳	5	6	11
80～84歳	4	11	15
85～89歳	1	29	30
90～94歳	4	21	25
95～99歳	1	4	5
100歳～	0	1	1
合計	17	74	91
平均年齢	78.1	89.5	87.3
最低年齢	70	72	
最高年齢	95	101	



## 1 住み慣れた地域での生活

- ・ ご利用者の状態や生活環境から現存機能を生かし、安心してよりよい生活が送れるようにご家族やケアマネジャーと検討し、必要性に応じたサービス提供を行いました。また、ご利用者にとって最も良い生活環境を整え、在宅での生活が出来るだけ長く継続できるように支援しました。
- ・ ご利用者・ご家族の困りごとや相談ごとは、ケアマネジャーとも情報を共有し、速やかに解決策を考え、色々な方法を提案するなどご家族の負担軽減につなげました。
- ・ 身体機能・認知機能の維持改善を数値やグラフで評価するなど、分かりやすく表示し、半年に1回、データを連絡帳に挟むなど、ご家族、ケアマネジャーにも状態の変化を知って頂き、今後の取り組みの内容などを一緒に検討し、機能の維持を図りました。

## 2 利用者の確保について

- ・ 中重度者や認知症の方、胃ろう、食事制限のある方も積極的に受け入れています。平成31年度は、ケアマネジャーや医療と連携し、胃ろうの方を経口摂取へ移行することが出来ました。
- ・ それぞれの方を支援するうえでの留意点を共有し、ご家族ともこまめに情報交換を行うなど、中重度の状態であっても安心してご利用いただけるように、寄り添うケアに努めました。
- ・ 『デイサービスセンターしらさぎ新聞』を毎月発行し、その月の取り組みやご利用者の様子、季節に応じた生活の中での注意点、また次の月の予定などを記載し、事業所、ミニデイ、生きデイ、地域などに発信しました。
- ・ ご利用中のご様子、健康状態などについて細かい配慮を行い、連絡帳や送迎時にこまめに情報交換を行うなどして、ご家族が安心できるように努めました。特に健康状態の変化については、早めの受診をお勧めしています。
- ・ お休みをされている方や入院されている方については、ケアマネジャーに様子を伺ったり、こちらから訪問や電話連絡をするなどして、利用再開をお勧めしています。
- ・ 利用希望者の情報を頂いた時には、訪問してご本人の様子を確認し、新聞や案内などでご利用を勧めています。
- ・ 地域のふれあいサロンに参加し、地域の方へも新聞やチラシを配布し、毎日の生活をどのように送られているかなどをお聞きし、関係性を密にするように努めています。
- ・ 機能訓練指導員による体操教室を開催し、機能訓練の必要性をPRしています。

## 3 サービスの質の向上について

- ・ ご利用中には馴染みの方との関係性などを考慮し、ADLに応じた席の配置を行うなどして他者との交流を図りやすい環境づくりを行いました。また、職員がテーブルについて一緒にテーブルゲームを行い、コミュニケーションが取りにくい方も含め交流を図ることができています。
- ・ 趣味を生かし、編み物、折り紙、脳トレ、塗り絵、パズルなどに取り組んでいただきました。他者に教えてあげたり、教えてもらったりして交流を図っておられることもあ

ります。

- ・ レクリエーションでは、他者を応援したり、拍手を送ったり、みんなが笑顔になれるように職員が盛り上げた結果、多くの利用者に喜んで頂くことができました。
- ・ 機能訓練指導員による機能訓練では、各ご利用者の身体状況により多数のプログラムの中からその方に適した訓練を実施し、定期的に効果を確認しています。効果が出れば、ますます機能訓練への参加意欲が高まり、介護予防が促進されています。
- ・ 下肢筋力の強化を目的として、屋外の坂道を活用した歩行訓練、そして午前・午後で下肢の血流を良くするための足踏み運動、さらに体操などを取り入れ、こまめに身体を動かす機会を作っています。その結果、利用者の意欲向上や身体の痛み軽減などが図られています。

(年間行事)

4月	花見、チューリップドライブ、避難訓練
5月	喫茶ドライブ
6月	あじさいドライブ、おやつ作り
7月	そうめん流し
8月	ミニ夏祭り
9月	敬老会、合同地震災害対策訓練
10月	ミニ運動会、合同防災避難訓練、
11月	おやつ作り、焼肉パーティー
12月	クリスマス会、
R2.1月	新年会（寄せ鍋）、
2月	菜の花ドライブ、節分
3月	お楽しみ会（ドジョウ掬い）

※お誕生会は、毎月開催しています。

#### 4 他事業所及び地域との連携

- ・ 居宅介護支援事業所、地域包括支援センターに、毎月1回報告書を持参し、担当利用者のご利用中の様子を伝え、ケアマネジャーからは自宅での様子を伺うなど情報交換を行い、住み慣れた地域での生活が継続できるように多職種連携により支援を行いました。また、その機会を利用し、新聞、チラシなどを用いて取り組みをPRしました。
- ・ 地域ミニデイでは、自宅から外に出るきっかけを作り、ご近所の方との交流機会を築いています。また、自宅で行える体操や脳トレなどのプリントを配布して実践する他、リハビリを取り入れたゲームを行うなどして、介護予防につなげました。
- ・ 地域の集まりに参加して介護相談窓口を開き、デイサービスの内容をPRしました。また、その機会を利用して、地域からの情報収集も行いました。

(地域ミニデイ月平均参加者数)

下構総合センター	5名
太市中公民館	12名
太市西脇公民館	5名
山田・松山公民館	7名
アットホーム	4名

(生きがいデイサービス)

月	一日平均利用者数	月	一日平均利用者数
4月	8名	10月	8名
5月	9名	11月	8名
6月	8名	12月	9名
7月	10名	R2. 1月	10名
8月	8名	2月	11名
9月	9名	3月	9名

一日平均利用者数 9名

## 5 人材育成と資質・専門性の向上

(施設外研修)

日程	研修名	参加者
5月16日	糖尿病ケアセミナー	則岡
8月24日	デイにおける稼働率向上と生活相談員の役割	山本
8月28日	感染症対策研修	堂安
9月13日	介護サービス事業者 集団指導	山本
10月3日	デイ部会「管理者研修」	山本
10月25日	介護保険サービス集団指導	山本
11月26日	組織におけるメンバーシップの築き方	三木
R2. 2月6日	福祉送迎運転者講習会	田淵

(施設内研修)

研修月	研修名	担当
6月	感染症について	三木
7月	個人情報とプライバシーについて	福原
8月	高齢者虐待と身体拘束について	福原
9月	機能訓練の効果について	則岡
10月	認知症及び認知予防について	福原
11月	感染症について	三木
R2.1月	心肺蘇生実施研修と車両事故及び緊急時の対応について	三木

	法令順守及び倫理について	三木
2月	リスクマネジメントについて	福原
3月	業務マニュアルの見直し	三木

- ・ デイサービスで活用できる外部研修に積極的に参加し、研修で学んだことをどのようにデイサービスしらさぎに取り入れ、情報を活かすのかを研修報告の場で話し合い、業務改善につなげました。
- ・ 施設内研修では、基本的な部分を再確認し、業務の振り返りや新しい問題点などについて話し合い業務改善を図りました。
- ・ デイ会議では、業務の問題点などについて職員から意見を集め、話し合う機会を増やし、業務改善への取り組みが充実しました。

## 6 健康管理について

- ・ 以下のとおり、感染症の予防を徹底して行いました。
  - i 姫路市内の感染症が流行している状況を把握し、ご利用者・ご家族へのお知らせなどを適宜行い、自宅での様子観察を求め、変化について報告を頂くようお願いしました。
  - ii 新型コロナウイルス感染症対策のため、ご利用当日には、事前に自宅で検温を行って頂き、迎えの際にご家族からご利用者の様子に変化がないかを確認し、手指消毒を行ってから乗車して頂きました。
  - iii 職員はもちろん、ご利用者にもマスクの着用を促しました。また、コロナ対策で国から事業所に配られた布製マスクを利用者にも配布し、その活用を求めました。
  - iv ご利用者には、来所されてからのうがい、手洗い、手指消毒を行っていただきました。
  - v 喫茶時に手指消毒を行い、昼食前には老人車、歩行器、手すり、椅子、ドアノブ、スイッチ、TVのリモコン、トイレの便座などの消毒を徹底しました。
  - vi 来所時だけでなく、昼食後にも検温も行いました。
  - vii 1時間から1時間半毎に換気を行い、空気の入替えを行いました。
  - viii 出来る限り、利用者と利用者の距離を保てるように配慮を行いました。
  - IX 様子に変化がみられた場合には、ご家族に状況を伝え早期受診をお願いしています。また、受診の結果を確認し、デイサービスのご利用に際し留意すべき点があれば職員に周知し、様子観察を徹底して行いました。
  - X 様子観察では、ご利用中の体調変化、食事の摂取量、体重の増減など色々な角度から観察を行い、健康増進のための体操を導入し、適度に身体を動かして頂きました。
  - XI 職員についても、来所前、来所時、昼食後に検温を行い、体調管理を行いました。

## 7 経費削減について

年度に渡って車の故障が多く、整備を徹底したところ、車輛修繕費と維持費に想定外の費用負担が発生しました。経年劣化と整備不足が原因と考えられます。

他の備品については、メンテナンス、清掃をこまめに行い、丁寧に使用することを徹底しています。

(事故件数)

7件

転倒・・・1件

その他・・・2件

車の損傷・・・4件

(クレーム件数)

1件

平成 31 年度

## 事業報告書

居宅介護支援事業所  
しらさぎ在宅介護支援センター

### 1 サービス提供計画 について

- ・ 担当利用者の自宅を訪問して、利用者や家族の面会を通して、必要としていることを確認し、住み慣れた自宅で生活できるように、インフォーマルサービスなども活用して生活をサポートしました。
- ・ 家族の介護疲れや、自宅での生活が難しそうな時は、施設サービスをご紹介し、安全の確保につなげました。
- ・ 特定事業所加算Ⅱを算定要件に従い、24 時間、電話対応可能な体制をとり、介護相談や生活上の些細なことに対しても、きちんと受け止め、対応しました。
- ・ 必要性に応じて、併設の特別養護老人ホームしらさぎの里やデイサービスしらさぎ、地域あんしん見守り支援サービスに相談して、対応していきました。
- ・ 公正中立なケアマネジメントを行うために、サービス事業所が偏らないように、利用者や家族の思いを聞きながら、また介護サービス事業所の内容や特徴などしっかり把握して、情報提供をしました。
- ・ 困難ケースに対しては、事業所内でケース会議を週 1 回は行い、利用者の権利擁護にも留意し、高齢者虐待の防止ができるように、地域包括支援センターなどの関係機関に相談するようにしていきました。

### 2 経営基盤充実のための取り組みについて

- ・ 新規は、介護給付が 44 件、予防給付が 18 件の実績がありました。  
法人の特養入所 8 件、死亡 6 件、長期入院 8 件、他施設入所 8 件で、合計 30 件の終了はありましたが、入院時は病院との連携を強化し、状態の確認を行い、サービスの中止が続く場合は、訪問や電話で、状況等を確認して、在宅のサービスに繋げることができ、年間稼働率を 90.4%で、目標の 90%に達成することができました。
- ・ 自宅での介護ができにくくなった時に、地域の方や利用者、家族からは、法人の特養への入所希望が多かったので、法人のショートステイの空きを確認して、担当者とも連携を図りながら、利用ができるように調整しました。
- ・ 受託事業である認定調査は、姫路市や姫路市以外からの依頼がある場合は、積極的に受けるようにしましたが、介護保険の有効期間が最長 3 年になったこともあり、平成 30 年度は、60 件でしたが、平成 31 年度は、30 件まで減少しました。
- ・ 予防給付は、地域包括支援センターからの紹介が増え、平成 30 年度は、年間平均 29.3 件でしたが、平成 31 年度は、年間平均 32.5 件まで増えました。今後も、対応できる範囲で受付けていきたいと思えます。
- ・ コスト削減に心掛け、物品は大切に扱い、必要以上に物を購入せず、事業所内でも経費削減に努めました。
- ・ 新規の依頼時には、適切かつ迅速な対応を心がけ、サービスに繋げ、自宅での生活を

安心して送って頂くための対応を行いました。

- ・ 地域で、勉強会やふれあいサロンを開催し、地域の方と顔の見える関係作りに力をいれました。その結果、介護相談が増え、困った時に相談してもらえる機会が増えたので、今後も地域で、地域の方が参加しやすい、勉強会やサロンなどを開催していきます。

ケアプラン作成件数 予防給付

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援受託	33	28	27	32	31	31	33	32	34	35	37	37	390

### 3 連携の強化について

- ・ サービス事業所事業所との連携については、サービス担当者会議、行事などに積極的に参加し、利用者の情報共有に努めました。
- ・ 医療機関との連携については、入院時や退院時に、主治医や病院担当者との情報交換やカンファレンスへの参加により、利用者の支援内容や介護方法などについて、意見を聞き、自宅に戻った時に、安心して生活を送ることができる環境づくりを支援しました。
- ・ 対応困難なケースについては、地域包括支援センターや民生委員など関係機関と相談、連携し、また併設の特別養護老人ホームしらさぎの里やデイサービスセンターしらさぎとも連携して、早期解決に向けて取り組みました。

新規利用者 受け付け

申込先	平成 30 年度	平成 31 年度
ご家族、本人	32	33
書写林田地域包括支援センター	10	8
大白書地域包括支援センター	11	14
その他の地域包括支援センター	1	0
民生委員、後見人	1	0
病院	8	5
居宅介護支援事業者	2	0
他事業所(福祉用具事業所・サービス付高齢者住宅)	3	0
合計	68	60

### 4 福祉サービスの質の確保について

- ・ 特定事業所加算の算定事業所として、質の高いケアマネジメントを目指し、加算要件を満たすために、徹底した管理と活動に努めました。
- ・ 他の法人の居宅介護支援事業所と、年2回、事例検討会を行い、職員の知識、資質の向上を図りました。
- ・ 包括的継続的ケアマネジメントなどの介護支援専門員の連絡会に参加し、他事業所と

の情報交換により知識を深め、積極的な情報収集を行いました。

- 最新の情報を取り入れた事業所内研修を行い、多様に変化する介護保険制度にも円滑に対応できる体制を築きました。

#### 平成 31 年度 地域交流講習会

開催日	テーマ	講師	場所
平成31年 4月17日	福祉用具にふれて体験してみよう	株式会社 たんぽぽ 福祉用具専門員 津村宏晃氏	アットホーム 林田しらさぎ
7月12日	家でもできる簡単体操	特別介護老人ホームしらさぎの里 機能訓練指導員 石田俊彦氏	アットホーム 林田しらさぎ
9月18日	大腸がん・乳がんについて	佐野内科ハートクリニック 院長 佐野一成氏	アットホーム 林田しらさぎ
11月7日	高齢者の栄養と食支援について	特別介護老人ホームしらさぎの里 管理栄養士 福岡友香	アットホーム 林田しらさぎ
令和2年 1月10日	知っておきたい感染症の話	姫路市中央保健センター安富分室 井川理佳氏	アットホーム 林田しらさぎ

#### 平成 31 年度 外部研修

開催日	研修名称等	出席職員	開催場所
平成31年 5月23日	ケアマネジメント力向上会議	福岡・富永	姫路市総合福祉会館
6月14日	事例検討会	松下	デイはくちょう
7月17日	西南ブロック包括的継続的 ケアマネジメント会議	福岡・富永・松下・富永	白鳥城
7月18日	ケアマネジメント力向上会議	松下	姫路市民会館
7月26日	気づきの事例検討会	松下	姫路市医師会館
8月16日～10月17日	主任介護支援専門員更新研修	福岡・富永	西はりま地域福祉センター
8月25日	第三民生児童委員協議会 合同地区交換会	福岡・富永・松下・長谷川	姫路西市民センター
9月13日	介護サービス事業所集団指導	福岡	姫路市文化センター
9月20日	西南ブロック包括的継続的 ケアマネジメント研修	福岡・松下	白鳥城
10月25日	介護保険サービス事業所に対する 集団指導	福岡	姫路市文化センター
11月19日	西南ブロック包括的継続的 ケアマネジメント研修	福岡・松下・長谷川	白鳥城
令和2年1月23日	ケアマネジメント力向上会議	富永・長谷川	姫路市医師会
2月13日	西南ブロック包括的継続 ケアマネジメント研修	松下	白鳥城



平成 31 年度 事業所内研修

開催日	研修名称等
平成31年 4月17日	福祉用具の上手な使い方について
5月14日	法令遵守及び倫理について
6月11日	事例検討会「キーパーソンに問題がある利用者の関わりについて」
7月12日	低栄養、食事量の少ない方への対応策や栄養補助食品の進め方について
8月23日	糖尿病と認知症の関係について
9月7日	災害におけるケアマネジャーの役割について
10月1日	ACP（アドボシス・ケア・プランニング）について
11月7日	ターミナルケアの方の関わりについて
12月5日	認知症の方の尊厳と関わりについて
令和2年1月10日	公平・中立の確保について
2月4日	権利擁護について
3月5日	高齢者虐待防止に向けた取り組みについて

## 5 地域との交流と連携について

- ・ 地域の方が参加しやすい場所にあるアットホーム林田しらさぎを利用して、ふれあいサロンや勉強会を開催しました。
- ・ 施設以外の相談窓口として、六九谷公開堂で、（R1.5 /4、7/6、9/6、11/2. R2.1 /11、3月中止 ）2ヶ月に1回、介護相談窓口を開き、施設入所の相談などに応じました。  
 デイサービスセンターしらさぎと一緒に相談窓口を開き、特別養護老人ホームしらさぎの里からは、しらさぎ音楽隊の参加があり、地域に身近な関係づくりに力を入れ、地域ニーズなどが把握できるように事業所間で協力しました。
- ・ アットホーム林田しらさぎで相談窓口を開きました。  
 ふれあいサロンや勉強会の前後に開催する他、月 1 回デイサービスしらさぎが行うミニデイの開催時にも窓口を設置し、人が多く集まる機会を利用して開催しました。
- ・ 地域行事の参加者や併設サービス利用者からの相談では、相談に行けない方や相談先がわからない方が多かったことを受け、地域に根ざした福祉実践のため、つながり作りに力を入れました。現状は主に、地域行事への積極的な参加、地域における勉強会やふれあいサロンの開催などを通じ、地域の方と顔なじみの関係を築けており、さらに信頼を深めることで、困った時に気軽に相談してもらえるように、今後も努力していく考えです。

平成 31 年度

## 事業報告書

姫路市大白書地域包括支援センター

### 1 職員体制

- ・統括責任者... 1 名（兼任） ・保健師等... 1 名 ・社会福祉士... 1 名
- ・主任介護支援専門員... 1 名 ・認知症担当... 1 名 ・指定介護予防支援従事者... 3 名

### 2 活動実績

#### 1) 相談総数（件）

電話	来所	訪問	その他（メール・FAX）
311 件	140 件	89 件	4 件

#### 2) 相談者総数（件）

本人・家族	行政機関 （市役所）	行政機関 （警察）	他の地域 包括	ケアマネ	サービス 事業所	医療機関	他の関係 機関	民生委員	地域団体
401 件	26 件	5 件	11 件	78 件	22 件	70 件	15 件	14 件	17 件

#### 3) 相談内容（重複計上あり）

区分		件数
一般相談	介護予防に関すること	18 件
	介護相談	49 件
	医療・健康相談	38 件
	生活相談	205 件
介護保険制度全般		371 件
総合相談に関すること		6 件
フォーマルサービス	保健福祉関係	8 件
	その他	0 件
インフォーマルサービス		8 件
権利擁護関係	虐待	12 件
	消費者被害	0 件
	成年後見等	5 件

その他	16 件
ケアマネジメント支援	13 件
計	749 件

#### 4) ケース検討会（地域ケア会議の開催）... 2 件

相談総数、相談者総数、相談内容の内訳は、ともに昨年度と大きく変りなし。  
介護保険や生活に関して、本人や家族からの電話相談が最も多かった。

### 3 介護予防ケアマネジメントに係る活動介護予防普及啓発事業

#### ・ いきいき百歳体操の活動支援...21 ヲ所

白鳥：柴崎公民館、川西台公民館、実法寺総合センター、フルーツガーデンさかい  
西市民センター健康増進室（健康作りの会、コスモスの会）コープつどい場

太市：丸山公民館、相野公民館、石倉公民館

青山：青山東集会所、西夢前台 1・2 公民館、人丸神社、青山苑、青山西公民館、青山公民館、青山北公民館、青山南山集会所、特養あおやま、教専寺、一般民家

#### ・ いきいき百歳体操交流会…西市民センター大ホールにて（2/7）

#### ・ 認知症サロン 11 ヲ所

白鳥：はつらつ夢クラブ、柴崎ピンピンクラブ、おしゃべりサロン、  
健康づくりの会、コスモスの会

青山：健康体操夢クラブ、東遠山さくらサロン、レモンクラブ、  
青山北いきいきサロン、花水木の会

太市：相野すみれサロン

#### ・ 認知症サポーター養成講座 計 2 ヵ所

青山：0 件（3 月に教専寺で実施する予定だったが、コロナ感染拡大防止のため  
令和 2 年度に延期した。）

白鳥：2 件（10/24 白鳥小学校 4 年生、R2/2/17 白鳥第 5 老人クラブ）

太市：0 件（地域行事と重なり年度内にできず、次年度に開催予定）

#### ・ 自主活動グループの活動支援：男性料理の会：毎月、西市民センターの調理室)

#### ・ 男性介護者のつどい：毎月、西保健福祉 S C の相談室にて開催、介護者と地域包括支援センター職員で情報交換や相談を受けている。

- ・ 講座開催
  - ① いきいき相談室（実法寺総合センター）年 10 回
  - ② 白鳥公民館講座 年 6 回
- ・ 2/12 青山老人クラブ第 6 班勉強会：「フレイル予防について」
- ・ 11/21 シルバーヘルパー研修（青山・白鳥）
- ・ 11/13 太市校区シルバーヘルパー研修（太市公民館・しらさぎの里）
- ・ 生活・介護支援サポーターの活動支援
  - 地域包括支援センターでの活動… 2 名      在宅訪問による活動… 1 名
- ・ ふれあい食事会…白鳥校区（11 回）、太市校区（2 回）
- ・ 白鳥 かしのき祭り参加協力（7/20）
- ・ 太市 敬老祝賀会出席（太市小学校 9/17）

#### 6) 介護予防普及啓発事業

- ・ いきいき百歳体操や認知症サロンを中心に、公民館講座やふれあい食事会への出・席、認知症サポーター養成講座の開催。
- ・ 単発的に地域での勉強会の開催や病院との交流会に参加し、地域と連携を図った。

#### 4 介護予防支援に係る実績

※（ ）内は前年度

自前プラン総件数	委託プラン総件数	新規利用者件数
2538 件 (2387 件)	880 件 (773 件)	113 件 (106 件)

自前プラン総件数は 2538 件、委託プラン総件数は 880 件、新規利用者数は 113 件、ともに増加

担当校区（青山・白鳥・太市）の高齢化に伴い、介護認定申請とサービス利用が増えている。プラン件数は自前も委託も増えている。  
 今後も同様の現象は 2025 年の高齢化率のピークに比例して予想ができる。国の動向に従い、介護予防支援を継続していく方針は変わらない。

#### 5 包括的継続的ケアマネジメント

##### 1) ケアプラン研修会の開催（年間 4 回）

	テーマ	講師	場所	参加数
第 1 回 (7 月 17 日)	「価値・倫理」	ブロックリーダー 福岡、岡本、坂本	ウエルカムハウス・スワン	46 人

第2回 (9月20日)	事例検討	ばんしゅうケアプラン 岡田英之氏	ウエルカムハウス・スワン	33人
第3回 (11月19日)	他職種連携	ブロックリーダー 依田、梶浦	ウエルカムハウス・スワン	43人
第4回 (2月13日)	「医療介護連携会議からの情報提供、介護予防ケアプランの手引き」	姫路在宅医療・介護連携支援センター 石本かおり氏 地域包括支援課 山本氏	ウエルカムハウス・スワン	38人

## 2) 居宅介護支援事業所の介護支援専門員との同行訪問

(困難事例への対応、委託プランへの対応 計0件)

## 3) 介護支援専門員からの相談対応(ケアマネ支援) 13件

## 4) 地域包括支援センターだより『ほうかつ新聞』の回覧、配布(毎月15日発行)

目的...地域の活動に対する理解、協力、連携、情報の周知、啓発・注意喚起等

配布場所... 以下のとおり

- ① 各小学校区(白鳥・青山・太市)の自治会長・自治会役員・民生委員・老人クラブ連合会長・老人クラブ会長
- ② 各町の公民館
- ③ 各種サービス事業所  
(特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者住宅、ケアハウス、小規模多機能、グループホーム、居宅介護支援事業所等)
- ④ 金融機関、医療機関
- ⑤ その他(自立活動グループ、いきいき百歳体操、認知症サロン参加者など)

## 6 職員の資質向上のための取組み

### 1) 姫路市が開催する連絡会及び研修会への参加

- ・ 社会福祉士 (連絡会3回・うち1回は研修会)
- ・ 主任介護支援専門員(連絡会3回・うち1回は研修会)
- ・ 保健師等 (連絡会3回・うち1回は研修会)
- ・ 認知症担当 (連絡会3回)
- ・ 管理者連絡会(4回)
- ・ 準基幹圏域連絡会(3回)
- ・ 準基幹圏域認知症担当の連絡会(2回)

- ・ ふれあい祭り開催（12月1日）※安室公民館城乾東光エリア8センター合同開催
- ・ ふれあい祭り企画会議（計6回）
- ・ ふれあい祭り全体会議（計2回）
- ・ ケアマネジメント力向上会議（計6回）

2) 広域的に開催される連絡会及び研修会（外部研修会等）への参加

- ・ 姫路市社協ふれあいネットワーク研修会（1回）
- ・ 平成31年度集団指導（1回）
- ・ 西播磨地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会総会（1回）

3) 内部研修会の開催（年12回）

開催月	研修内容	担当者
4月	個人情報・プライバシーの保護について	杉本
5月	倫理と公正中立性の確保について	竹田
6月	法令遵守について	山田
7月	認知症の予防と対策について	山田
8月	地域包括ケアについて	富田
9月	権利擁護について	有末
10月	高齢者の健康管理と栄養について (健康なお口でいきいき生活)	青田
11月	防災学習「自分の命は自分で守ろう」	青田
12月	事故発生時の対応について (自分の命は自分で守ろう)	有末
1月	ケアマネジメント力の向上について	富田
2月	高齢者虐待防止とその対応について (総合相談・ソーシャルワークについて)	田中
3月	住み良い住環境づくりについて (上手な福祉用具の使い方)	山下コーポレーション 熊本氏

## 7 災害対策に向けた地域との連携

- ・ 9/1 青山防災フォーラム参加

## 8 その他

- ・ 定例会議 毎月開催  
(毎月、事業計画の進捗状況の振り返り及び方針検討)
- ・ 苦情解決委員会 偶数月・年間6回  
(年間の苦情相談発生件数 1件)
- ・ 運営推進会議グループホーム、小規模多機能ホーム…2か月1回  
(サザンツリー、小規模多機能ホームさかい、サンホーム青山)
- ・ 地域密着型デイ…半年に1回  
(エミオ、はなのいえ)
- ・ 第三者評価 (12/16)
- ・ 実習生の受け入れ  
(2校 10名)
  - 〔 姫路赤十字看護専門学校 (4回 各2名)
  - 〔 国立姫路医療センター附属看護学校 (1回 2名)

平成 31 年度

## 事業報告書

アットホーム林田しらすぎ

地域の高齢者が日常生活の不安解消や社会とのつながりを維持することが出来る環境を目指し、地域福祉の拠点として介護予防を推進し、介護保険制度を補完しつつ、高齢者の安心が伴う生活を築き、活動の場とその機会が広がるように支援しました。

### 1 地域ニーズに応じた活動

- 1) 地域包括支援センター・地域各種団体と連携し、地域ニーズの把握に努めました。
  - ・ 地域交流講習会や体操教室等を開催し、地域住民に広く案内し参加を募りました。
  - ・ アンケート用紙と意見箱を設置し、地域の声を集めるための手段としました。
  - ・ 有償ボランティアとの情報交換をする機会を設けました。
  - ・ 催しの参加者との交流を持ち、地域住民からのニーズの把握に努めました。
- 2) 地域における介護予防や当事業所の役割・存在意義の理解を広め、サービス拠点として機能の充実化を図ります。
  - ・ ふれあいサロン運営の現状を踏まえ、都度有償ボランティアと意見を交わしながら体制の見直しを行いました。
  - ・ 地域交流講習会や体操教室等を開催し、介護予防や介護技術などの知識やノウハウを活かした情報提供を行い、在宅介護をサポートしました。
  - ・ 催しの参加者が気軽に相談できる機会として、介護なんでも相談会を開きました。  
(令和2年3月以降は新型コロナウイルス対策のため、行政の自粛要請に応じふれあいサロン、体操教室など全ての活動を休止。それ以降も活動再開の見通しつかず。)

### 2 介護予防について

- 1) 地域で暮らす高齢者の安心を生むため、LSAが地域包括支援センター・居宅介護支援事業所・自治会・民生委員と連携し地域の見守り機能を果たしました。
  - ・ 24時間見守り支援は、電話と訪問を手段とした安否確認と随時相談を行いました。
  - ・ 生活支援サービスに移動支援を加えてサポートを充実。見守りの契約対象者は、4月段階の4名から7名に増加。法人が運営する介護サービス事業との併用、連携などによりトータルサポートにつなげています。
- 2) 社会福祉事業の立ち上げは、平成31年3月11日開催の平成30年度第5回理事会において、事業の実現が難しく公益的な活動拠点とすることを法人の意思決定とし、顛末書の提出を以て姫路市に報告。不動産使用証明願撤回を求め受理されました。
- 3) 認知症勉強会・ミニデイ・ふれあいサロン・介護者の集いなどを開催し、高齢者の閉じこもり予防や地域交流の場としての役割機能を発揮しました。
  - ・ ふれあいサロン(4月～毎週3回火・木・土曜、10:00～13:00の3時間に変更)
  - ・ 地域交流講演会(介護者教室)の開催 年間5回(アットホーム林田しらすぎ)
  - ・ ミニデイサービス(予防体操教室)の開催 林田・太市の5箇所で開催合計56回



- ・ 介護技術講習会の開催 年間2回（しらさぎの里）
  - ・ ふれあい喫茶 年間6回（しらさぎの里・アットホーム林田しらさぎ）
- 4) 誰でも気軽に相談できる身近な窓口では、介護に関する悩み相談に応じ、地域のニーズを把握し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための支援に繋がりました。
- ・ 介護相談室 年間8回（アットホーム林田しらさぎ）
  - ・ ふれあいサロンの開催を通じ、身近な窓口として地域相談を随時受付、多様な問題解決機能を発揮するため、法人の各部門とのコーディネート機能を果たし、必要な支援や手続きに結び付けました。（生きがいデイサービス、居宅介護支援など）
- 5) ふれあいサロンの運営状況について

※ 以下の（ ）内は平成30年度実績

《ふれあいサロン利用延べ人数》

年間利用延べ人数 2,230人（3,148人）

《利用料合計》

2,230人×100円＝223,000円（31,480円）…①

《月当たりの利用者延べ人数》

開催月	利用延べ人数（人）
平成31年 4月	269（216）
令和元年 5月	216（265）
6月	249（258）
7月	224（272）
8月	194（244）
9月	192（170）
10月	161（258）
11月	156（275）
12月	198（326）
令和2年 1月	170（306）
2月	201（307）
3月	0（251）
合計	2,230（3,148）

《運営に要した費用》

項目	金額（円）
菓子代	72,819 (87,409)
電話料金	45,656 (45,562)
電気料金	47,281 (50,518)
水道料金	22,198 (22,155)
ボランティア料	199,250 (286,584)
固定資産税	192,800 (195,594)
火災保険料	162,975 (162,975)
合計	<u>742,979</u> …② (850,797)

《年度末収支差額合計》

① － ② ＝ △ 519,979円（△ 535,997円）

## 平成 31 年度 施設外研修参加一覧

日付	研修内容	参加者	場所
4月4日	老施連栄養士部会役員会	福岡友	いやさか苑
4月10日	地域サポート施設情報交換会	渡部・高濱	兵庫県民会館
4月11日	社会福祉法人運営に関する説明会	施設長	姫路市総合福祉会館
4月12日	地域包括支援センター連絡会総会	施設長	姫路市総合福祉会館
4月18日	バリアフリー2019	春本・渡部	インテックス大阪
4月18日	姫路認知症連携フォーラム	満田絵	姫路キャッスルグランヴィリオ
4月22日	姫路市老人福祉施設連盟総会	施設長	姫路商工会議所
5月9日	老施連栄養士部会役員会	福岡友	ケアハウス青山苑
5月13日	兵庫県社会福祉法人経営者協議会総会	理事長	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
5月16日	糖尿病ケアセミナー	山本千・則岡	ホテルサンシャイン青山
5月20日	兵庫県地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会新任職員研修	満田絵	兵庫県福祉センター
5月21日	衛生講習会	馬場	姫路市総合福祉会館
5月22日	市老施連新任職員研修	井上・三村	姫路商工会議所
5月23日	姫路市栄養管理研修会	村田	手柄山交流ステーション
5月23日	スチームコンベクションセミナー	福岡友・柳田	ホシザキ阪神姫路営業所
5月23日	ケアマネジメント力向上会議	福岡恵・富永	姫路総合福祉会館
5月26日	認知症研修会	青田・富田 大崎・満田絵	姫路市西市民センター
5月28日	疾患別リハビリ研修 脳血管障害	加納・山本秀	西播磨総合リハビリテーションセンター
6月3日	社会福祉法人指導監査説明会	施設長	姫路市役所
6月13日	市老施連栄養士部会総会	福岡友・村田	姫路市総合福祉会館
6月14日	安全運転管理者講習	事務長	姫路市民会館
6月14日	事例検討会	松下	デイサービスセンターはくちょう
6月24日	兵庫県老人福祉事業協会総会	施設長	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
6月26日	スーパースチーム調理講習会	荒内	関西電力姫路支店
6月28日	西播磨地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会総会	施設長・大崎	姫路市役所
6月28日	姫路市・西播磨エリア多職種合同研修会	富田・杉本 竹田	姫路市役所
7月16日他	認知症介護実践者研修	長尾	西播磨総合リハビリテーションセンター

7月17日	西南ブロック ケアマネジャー研修	福岡恵・富永 松下・長谷川	ウエルカムハウススワン
7月18日	市老施連栄養士部会研修会	福岡友・水戸	姫路市勤労市民会館
7月18日	ケアマネジメント力向上会議	松下	姫路市医師会館
7月25日	介護職員処遇改善加算に関する説明会	事務長	姫路市民会館
7月25日	病院栄養士研究会講演会	有方	手柄山交流ステーション
7月25日	兵庫県社会福祉法人経営者協議会例会	理事長	神戸メリケンパークオリエンタル ホテル
7月26日	気づきの事例検討会	松下	デイサービスセンターはくちょう
7月26日	兵庫県4DAS 基礎研修	満田絵	姫路北病院
7月30日	ふれあいネットワーク事業研修会	満田絵	姫路市総合福祉会館
7月30日	健康経営優良法人 2020 認定を目指すセミナー	事務長	姫路商工会議所
8月6日	地域包括支援センター適正運営評価事前説明会	青田・大崎	姫路市総合福祉会館
8月6日	社会福祉法人監事研修	世良	兵庫県福祉人材研修センター
8月8日	市老施連栄養士部会研修会	福岡友・森下	姫路市総合福祉会館
8月8日	兵庫県老人福祉事業協会第2回研修委員会	施設長	兵庫県福祉センター
8月16日他	主任介護支援専門員更新研修	福岡恵・富永 富田	姫路西はりま地場産業センター
8月24日	デイにおける稼働率向上と生活相談員の役割	山本千	エルおおさか
8月25日	第三民生児童委員協議会合同校区交換会	福岡恵・富永 松下	姫路西市民センター
8月27日	市老施連 施設長研修会	施設長	ホテルモントレ姫路
8月28日	感染症対策研修（管理者研修）	堂安	姫路市役所
9月12日	市老施連 栄養士部会役員会・研修会	福岡友	姫路市総合福祉会館
9月13日	介護サービス事業者（通所介護）集団指導	山本千 福岡恵	姫路市文化センター
9月15日	姫路市西播介護サービス実践発表会	施設長・高濱	ハーベスト医療福祉専門学校
9月18日	在宅医療勉強会	施設長	姫路市医師会館
9月19日	ケアマネジメント力向上会議	竹田・山田	姫路市医師会館
9月20日	西播磨地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会研修会	施設長	ホテルモントレ姫路
9月20日	第2回西南ブロックケアマネジャー研修	富田・杉本 竹田・福岡恵 松下	ウエルカムハウススワン
9月26日	地域包括支援センター連絡会全体研修会	富田・満田絵 竹田・山田	姫路市役所

10月3日	兵庫県老人福祉施設協議会デイ部会 (管理者研修会)	山本千	兵庫県福祉センター
10月10日	生涯現役社会ワークショップひょうご2019	事務長	神戸市産業復興センター
10月17日	介護職員等終末期ケア対応向上研修会	施設長・藤川	姫路市総合福祉会館
10月24日	兵庫県経営者協議会 10月例会	理事長	兵庫県民会館
10月25日	介護保険サービス事業者等に対する集団 指導	施設長・春本 福岡恵・青田 山本千	姫路市文化センター
10月29日他	介護支援専門員更新研修	施設長	兵庫県福祉人材研修センター
10月30日	兵庫県老施協 第3回研修委員会	施設長	兵庫県福祉センター
10月30日	地域包括支援センター全体研修会	富田	姫路市役所
11月1日他	介護支援専門員更新研修	青田	兵庫県福祉人材研修センター
11月2日	兵庫県老協 介護の日イベント	施設長	ニチイ学館神戸ポートアイランド
11月12日	姫路市社会福祉大会	施設長	姫路市民会館
11月19日	第3回西南ブロックケアマネジャー研修	福岡恵・松下 長谷川	ウエルカムハウススワン
11月22日	地域サポート施設推進事業説明会・情報 交換会	高濱	兵庫県福祉センター
11月26日	組織におけるメンバーシップの築き方	三木悠	姫路西はりま地場産業センター
11月29日	兵庫県老施協 職員研修会	施設長	兵庫県私学会館
12月3日	市老施連施設長研修・栄養士部会研修	施設長 福岡友	ホテル日航姫路
12月6日	法人経営トップセミナー	理事長	マークススクエア神戸
12月9日	社会福祉法人財務管理研修	村田	兵庫県福祉人材研修センター
12月16日	姫路市老施連 職員研修会	福岡友	姫路商工会議所
12月19日	姫路市社会福祉施設等中堅職員研修	井原	姫路市総合福祉会館
12月23日	令和元年度社会福祉法人研修会	理事長	姫路市民会館
1月7日	姫路市社会福祉研修	施設長	姫路市総合福祉会館
1月11日	兵庫県社協 令和2年新年福祉のつどい	理事長	ANAクラウンプラザホテル神戸
1月20日	社会福祉法人会計研修	村田	姫路市防災センター
1月21日	看看連携交流会	青田	姫路商工会議所
1月23日	ケアマネジメント力向上会議	富永・長谷川	姫路市医師会館
1月23日	第3回栄養管理研修会	福岡友	姫路市防災センター
1月24日	兵庫県経営協セミナー	理事長 施設長	神戸メリケンパークオリエンタル ホテル
1月24日	市老施連栄養士部会役員会	福岡友	ケアハウス青山苑
1月28日	近畿老施協 施設長研修会	施設長	神戸メリケンパークオリエンタル ホテル

1月31日	認知症ケアセミナー	橋本	西播磨総合リハビリテーションセンター
2月6日	福祉送迎運転者講習会	田渕	兵庫県民会館
2月13日	第4回西南ブロックケアマネジャー研修	松下	ウエルカムハウススワン
2月13日	公正採用選考人権啓発推進研修会	理事長	姫路キャッスルグランヴィリオ
2月14日	姫路権利擁護フォーラム	田中	姫路市総合福祉会館
2月17日	西播磨地域包括・在宅介護支援センター 連絡協議会研修会	施設長・青田	姫路商工会議所
2月17日	退職金共催制度事務説明会	村田	兵庫県農業会館
3月24日	学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会	荒内	みかしほ学園
3月30日	姫路市地域包括支援センター委託契約等 説明会	施設長	姫路市総合福祉会館

## 平成 31 年度 ボランティア活動実績

活動日時	活動内容	部署	活動人数
平成 31 年 4 月 5 日	大正琴演奏披露	デイ	5 名
4 月 8 日	手品披露	デイ	1 名
4 月 10 日	大正琴演奏披露	デイ	5 名
5 月 2 日	管楽器演奏披露	デイ	2 名
5 月 7 日	和太鼓演奏披露	デイ	2 名
5 月 15 日	大正琴演奏披露	デイ	5 名
5 月 30 日	俳句指導	特養	2 名
6 月 6 日	大正琴演奏披露	デイ	7 名
6 月 10 日	大正琴演奏披露	デイ	5 名
6 月 10 日	習字指導	デイ	1 名
6 月 13 日	手品披露	デイ	1 名
6 月 24 日	習字指導	デイ	1 名
6 月 26 日	ふれあい喫茶手伝い	特養	3 名
6 月 29 日	手品披露	デイ	7 名
7 月 8 日	習字指導	デイ	1 名
7 月 9 日	大正琴演奏披露	デイ	5 名
7 月 18 日	手品披露	デイ	1 名
7 月 22 日	習字指導	デイ	1 名
7 月 30 日	俳句指導	特養	2 名
8 月 8 日	大正琴演奏披露	デイ	5 名
8 月 12 日	習字指導	デイ	1 名
8 月 21 日	大正琴演奏披露	デイ	5 名
8 月 23 日	手品披露	デイ	1 名
8 月 26 日	習字指導	デイ	1 名
8 月 29 日	大正琴演奏披露	デイ	5 名
9 月 4 日	大正琴演奏披露	デイ	5 名
9 月 5 日	手品披露	デイ	7 名
9 月 13 日	手品披露	デイ	1 名
9 月 16 日	習字指導	デイ	1 名
9 月 23 日	習字指導	デイ	1 名
9 月 29 日	しらさぎの里祭り手伝い	特養	10 名
10 月 1 日	俳句指導	特養	2 名
10 月 3 日	大正琴演奏披露	デイ	5 名

	10月12日	コーラス歌披露	デイ	11名
	10月14日	習字指導	デイ	1名
	10月14日	大正琴演奏披露	デイ	5名
	10月23日	ふれあい喫茶手伝い	特養	2名
	10月28日	習字指導	デイ	1名
	11月8日	手品披露	デイ	1名
	11月11日	習字指導	デイ	1名
	11月19日	クリスマスツリー飾り手伝い	特養	2名
	11月25日	習字指導	デイ	1名
	11月26日	大正琴演奏披露	デイ	5名
	11月28日	大正琴演奏披露	デイ	7名
	11月28日	俳句指導	特養	2名
	12月3日	習字指導	デイ	1名
	12月3日	大正琴演奏披露	デイ	5名
	12月7日	手品披露	デイ	1名
	12月10日	大正琴演奏披露	デイ	7名
	12月16日	手品披露	デイ	1名
	12月23日	習字指導	デイ	1名
令和2年	1月8日	大正琴演奏披露	デイ	4名
	1月25日	手品披露	デイ	1名
	2月4日	大正琴演奏披露	デイ	8名
	2月4日	習字指導	デイ	1名
	2月5日	大正琴演奏披露	デイ	4名
	2月6日	手品披露	デイ	1名
	2月8日	コーラス歌披露	デイ	12名
	2月13日	ひな人形飾りつけ	特養	3名
	2月18日	大正琴演奏披露	デイ	6名

参加ボランティア： 団体（11団体）個人（3人）

延 活動回数： 60 回

延 活動人数： 202 人